

第 2 次石巻市総合計画

評価シート（令和 6 年度実績）

総合計画基本計画	1
第 1 章 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち（6 節）	1
第 2 章 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち（3 節）	13
第 3 章 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち（5 節）	21
第 4 章 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち（6 節）	33
第 5 章 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち（6 節）	51
第 6 章 市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち（2 節）	65

第 2 期 復興・創生期間に係る対応方針	73
第 1 章 第 2 期 復興・創生期間に係る対応方針（2 対応方針）	73

地方創生の取組	77
第 1 章 人口戦略の推進（4 対応方針）	77
第 2 章 未来都市の実現（1 対応方針）	93

章				
節				
数値目標（KGI）				
目標値の考え方	第2次石巻市総合計画策定に係る市民意識調査（令和元年11月～12月実施）の結果を参考に、計画の最終年度である令和7年度の目標値を設定しています。			
設定値（％）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7（最終目標値）
		⇒		⇒

■節の達成状況

主な担当課							
関係課							
令和6年度の主な取組や成果							
【定量評価】 <table><tr><td>総合計画基本計画</td><td>【第2期 復興・創生期間に係る対応方針】 【地方創生の取組】</td></tr><tr><td>各KPIの達成度から以下の4段階で評価しています。 ◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上</td><td>各KGIの達成度から以下の4段階で評価しています。 ◎：a（どちらもa） ○：b（どちらも「aまたはb」） △：c（どちらかが「cまたはd」） ×：d（どちらもd）</td></tr></table>				総合計画基本計画	【第2期 復興・創生期間に係る対応方針】 【地方創生の取組】	各KPIの達成度から以下の4段階で評価しています。 ◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上	各KGIの達成度から以下の4段階で評価しています。 ◎：a（どちらもa） ○：b（どちらも「aまたはb」） △：c（どちらかが「cまたはd」） ×：d（どちらもd）
総合計画基本計画	【第2期 復興・創生期間に係る対応方針】 【地方創生の取組】						
各KPIの達成度から以下の4段階で評価しています。 ◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上	各KGIの達成度から以下の4段階で評価しています。 ◎：a（どちらもa） ○：b（どちらも「aまたはb」） △：c（どちらかが「cまたはd」） ×：d（どちらもd）						
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性					
①							
②							
③							
【定性評価】 担当課において3段階で評価しています。							
内部評価	定性評価	定量評価					
	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない		◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上				

【内部評価】

定性評価と定量評価を掛け合わせた右の基準から設定しています。

- A：順調
B：概ね順調
C：やや遅れている
D：遅れている

		定性評価		
		◎	○	×
定量評価	◎	A	A	B
	○	A	B	C
	△	B	C	D
	×	C	D	D

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	1 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち			
節	1 共生型社会に向けた地域コミュニティ活動活性化の充実			
数値目標（KGI）	地域コミュニティ活動が活性化していると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） コミュニティ（地域自治）活動の充実（①＋②） ①[満足・どちらかといえば満足] 48.8% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 18.2%			
設定値（%）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7（最終目標値）
	48.8	⇒	54.7	⇒ 67.0

■節の達成状況

主な担当課		市民生活部地域協働課			
関係課		復興企画部地域振興課			
令和6年度の主な取組や成果					
住民協議会については、令和5年度まで7地区で設立されていたが、積極的に地域への意識醸成を図った結果、令和6年度には新たに6地区で設立された。また、住民協議会の増加に伴い、「地区交流イベント」などの活動実績も17回から36回へと大きく増加したことから、住民主体の地域づくりが推進され、地域の活性化が図られた。 地域まちづくり委員会については、6総合支所において計13回開催し、「地域コミュニティの活性化」「地場産品等の振興策」など計18件の地域の均衡ある発展及び活性化につながる協議が行われ、昨年度の課題であった地域のまちづくり施策の提案について、2地域から市長へ提案があった。 友好都市等との交流事業については、中国・温州市との間で国際友好都市締結40周年を迎え、両市民による友好訪問団の相互派遣を通して更なる友好親善関係を促進することができた。また、国内姉妹都市・友好都市との交流を深めるため、来石時に郷土芸能を披露したほか、姉妹都市における祭りやイベントに当市の郷土芸能保存会を派遣するなど、両市の魅力を知っていただく機会を創出したことにより、全体的に交流事業参加者数を増やすことができた。					
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性			
①	住民自治組織の有効性や組織設立に向けたプロセスが地域住民に伝わらず、住民協議会が未設立となっている地区がある。	住民自治組織の有効性等について積極的に伝えた結果、令和6年度は、新たに6地区で住民協議会が設立された。令和7年度には、未設立の3地区を含めたすべての地区で住民協議会が設立される予定となっている。			
②	各総合支所によって、地域まちづくり委員会の開催数に差がある。	河北地域及び桃生地域の2地区から市長へ提案がなされた。今後は他地区からも市長に提案ができるよう各総合支所と連携しながら取り組む。			
③	各種交流事業への参加者数増加を目指す。	オンラインの活用や相互派遣による交流事業の実施回数が増えたことから、交流事業参加者数の増加を図ることができた。また、今後も交流が少ない都市との調整を図りながら、両市にとって有益な交流に努める。			
内部評価		定性評価		定量評価【KPI】	
A		◎		◎	
		◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない		◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上	

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細 節		1 コミュニティ活動の活性化を図る							
重要業績評価指標（KPI） ★R6.11 指標見直し		住民協議会による交流事業数（単年）					担当部課		
							市民生活部地域協働課		
指標の考え方		住民協議会の交流事業により地域住民間の交流を促進し、地域コミュニティの活性化を推進する。							
目標値の考え方		○基準値：1地区あたり3件の交流事業を実施する。 令和6年度 3件×11地区＝33件 令和7年度 3件×16地区＝48件							
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P90	
目標（事業）		－	－	－	33	48			
実績（事業）		－	－	17	36	－	R6達成度	a	
達成率		－	－	－	109.0%	－			
細 節		2 地域の均衡ある発展を図る							
重要業績評価指標（KPI）		地域で取り組むべき事項の検討件数（単年）					担当部課		
							復興企画部地域振興課		
指標の考え方		地域まちづくり委員会において、地域における課題の把握及び解決に努めることで合併前の旧町地域の均衡ある発展及び活性化を図る。							
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 7件 6総合支所（河南、雄勝、河北、桃生、北上、牡鹿）ごとに各2件の地域課題等について検討を行う。							
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標（件）		－	12	12	12	12			
実績（件）		7	6	8	18	－	R6達成度	a	
達成率		－	50.0%	66.6%	150.0%	－			
細 節		3 友好都市等との交流を推進する							
重要業績評価指標（KPI）		友好都市等との交流事業参加者数（単年）					担当部課		
							復興企画部地域振興課		
指標の考え方		地域住民が参加する多様な交流事業を実施し、関係人口の拡大を推進することで、地域の活性化を図る。また、事業を通じて自分たちの住む地域に対する理解・興味を増進させ、地域の活動への参加促進を図る。							
目標値の考え方		○基準値：平成28年度～令和元年度の平均 216名 ※令和2・3年度は全事業中止 【国内姉妹都市・友好都市】各事業50名 茨城県ひたちなか市：隔年1回、山形県河北町：年2回、山口県萩市：年1回 【国際姉妹都市・友好都市】各事業20名 イタリア・チビタベッキア市：年1回、中国・温州市：年1回							
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標（人）		－	250	250	250	250			
実績（人）		0	215	250	375	－	R6達成度	a	
達成率		－	86.0%	100.0%	150.0%	－			

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	1 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち			
節	2 少子高齢化社会に対応する移住・定住の促進			
数値目標（KGI）	移住・定住に対する施策が充実していると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 住みやすさ（①＋②） ①[とても住みやすい・どちらかというに住みやすい] 60.9% ②[どちらでもない・どちらかというに住みにくい・住みにくい]×1/2 18.7%			
設定値（％）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7（最終目標値）
	60.9	⇒	46.8	⇒ 79.6

■節の達成状況

主な担当課	復興企画部SDGs移住定住推進課		
関係課	復興企画部地域振興課		
令和6年度の主な取組や成果			
移住対策事業の推進のため、移住希望者からの相談に対応したほか、首都圏で開催された移住相談イベントに4回出展し積極的に本市の魅力を発信した。「お試し移住体験事業」では、中央第三復興住宅、折浜復興住宅及び網地島で合わせて48組91名を受入れた。また、若い世代の移住促進のため、「定住促進住宅取得等補助制度」の対象者を子育て世帯に絞り込むことで補助額拡大を図り、31組に交付したほか、令和6年度から奨学金の返還額の一部を助成する制度を創設し、13人に交付した。その結果、前年度と比較し移住対策事業を活用した移住者は22名減の143名となったが、30代以下の割合が7%増加し、若い世代の移住定住を促進することができた。 外国人に対する定住環境の整備については、外国人相談窓口を設置し、職員対応のほか外国人相談員を2名配置し対応を行っているほか、多言語映像通訳アプリの導入及び出入国在留管理庁の通訳支援の登録により、対応言語を新たに7言語追加し、従来の13言語から20言語対応へ拡充することができた。相談内容に応じて庁内外の関係機関と連携を図りながら、外国人住民が抱える不安や問題等の解決に向けた支援を行い、本市で安心して暮らすための環境整備を推進した結果、昨年度に引き続き目標値を上回ることができた。			
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 奨学金返還支援の情報が若い世代に行き届いていない。		LINEやInstagramなどのSNSを活用するほか、企業等を通して従業員等に周知を図っていく。	
② 外国人相談窓口において、ミャンマーなどの外国人住民数が増加している国の母国語対応ができていない。		年度途中から出入国在留管理庁の地方公共団体における通訳支援に登録し、電話通訳による対応言語を拡充することができた。令和7年度からは新たなAI通訳及びテレビ電話通訳のアプリを導入し、更なる対応言語の拡充を図る。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	○	◎	◎：「a または b」のみで a が半数以上 ○：「a または b」のみで a が半数未満 △：「c または d」があり d が半数未満 ×：d が半数以上
◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない			

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細 節		1 移住したくなるライフスタイルの形成を図る							
重要業績評価指標（KPI）	移住対策事業を活用した本市への移住人数（単年）							担当部課	
								復興企画部SDGs移住定住推進課	
指標の考え方		移住対策事業（移住相談、空き家バンク、石巻市定住促進住宅取得等補助金、お試し移住体験）を推進することで、移住人口の増加を図る。							
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 76人 令和3年度から移住希望者に対する住宅取得等の補助金を創設したことから、補助金を活用した移住者130人、相談窓口を利用した移住者20人を目指す。							
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P82		
目標（人）	－	150	150	150	150				
実績（人）	76	152	165	143	－	R6達成度	b		
達成率	－	101.3%	110.0%	95.3%	－				
細 節		2 国際社会に対応する安心な定住環境を整備する							
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し	外国人住民数（単年）							担当部課	
								復興企画部地域振興課	
指標の考え方		外国人が暮らしやすいまちづくりを推進するため、外国人の生活相談等の窓口を充実させ、外国人の移住人数を増やす。							
目標値の考え方		○基準値：令和5年度末 外国人住民数1,606人 ※令和6年5月末現在 外国人住民数1,652人 技能実習や特定技能の在留資格を持つ外国人住民が増加傾向にあり、過去3年の平均として82.6名の増加となっていることから、年間80名の増加を目指す。							
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲			
目標（人）	－	1,400	1,440	1,690	1,770				
実績（人）	1,205	1,375	1,606	1,734	－	R6達成度	a		
達成率	－	98.2%	111.5%	102.6%	－				

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	1 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち			
節	3 安心して暮らすための地域防災力などの向上			
数値目標（KGI）	地域の防災対策が推進されていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 地震や水害に対する防災体制づくり（①＋②） ①[満足・どちらかといえば満足] 46.8% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 22.4%			
設定値（％）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7（最終目標値）
	46.8	⇒	64.7	⇒ 69.2

■節の達成状況

主な担当課	危機管理部危機対策課		
関係課	危機管理部地域安全推進課		
令和6年度の主な取組や成果			
総合防災訓練については、市内全小中学校を登校日とし地域と連携した訓練を実施しており、令和6年度はペット避難訓練や避難所開設訓練など住民参加型の避難訓練を行ったが、例年どおりの11月の第一日曜日ではなく、3連休の中日を回避するため土曜日開催にしたことや当日の降雨などが重なり、参加率が低下した。 災害メール配信サービスの登録者人数については、総合防災訓練、出前講座、防災フェア等で登録を呼びかけたが、既に様々な防災関連アプリを含め登録済みの市民が多く、令和6年度の登録者人数は目標値の半数以下となった。 消防団資機材整備（ポンプ置場、消防車両等）については、計画的な更新・整備を行い、消防団員の負担軽減と消火活動等における迅速な対応が可能となり、地域住民の安全安心が確保された。 なお、令和2年度に全戸配布を行った「洪水ハザードマップ」について、中小河川の洪水浸水想定区域情報や土砂災害警戒区域の最新情報等を反映した改訂を行い全戸配布を行った。また、毎年実施している防災フェアでは、クイズラリーや消火体験など参加型の企画を行うことにより、多くの市民が防災に対する意識の向上やいざという時の備えの重要性の再確認に繋がり、地域防災力の向上が図られた。			
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 令和6年度の防災訓練参加率が目標値に達しておらず地域住民の参加率の向上が課題となっているとともに、自主防災組織、学校等が連携した効果的な訓練や防災活動の実施が必要となっている。		学校区単位で住民や関係機関が一堂に会する地域防災連絡会等に職員が出席し、地区防災計画の必要性や総合防災訓練の実施内容などの説明を行った。今後は地域に応じた防災対策のため、地域の情報を熟知している地域住民の参画による地域の実情に即した防災計画の作成など、市と地域がお互いに知恵を出し合い、地域防災力の向上に努めていきたい。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△ ◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細 節		1 地域防災力の向上を図る							
重要業績評価指標（KPI）		防災訓練参加率（単年）					担当部課		
							危機管理部危機対策課		
指標の考え方		災害時に迅速に対応するためには、市民一人ひとりの防災意識や災害への備えが重要であることから、防災訓練の参加率を上げることで、地域防災力の向上を図る。							
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 17.75％ 直近の一番高い参加率が平成30年度の20％であることから、令和7年度には人口の20％（令和7年人口推計値からの算出で25,900人）の参加率を目標値とし、令和4年度から毎年度0.56％（令和4年9月末時点人口算出で767人）の増加を目指す。							
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P89	
目標（％）		15.50	18.31	18.87	19.43	20.00			
実績（％）		17.75	15.45	18.14	12.98	－	R6達成度	C	
達成率		114.5%	84.3%	96.1%	66.8%	－			
細 節		2 防災情報を発信する							
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し		災害メール配信サービスの登録者人数（累積）					担当部課		
							危機管理部危機対策課		
指標の考え方		災害情報をいち早く発信するために有効な手段である災害情報メールの登録者人数を増やす。							
目標値の考え方		○基準値：令和5年度 単年 1,635人、累積15,607人 令和3年度は目標に対して実績は大きく越えたが、令和4年度の増加率は前年よりも低調であった。令和5年度は再度伸び率が増加している。令和6年度以降も一定の増加が期待できるため、令和5年度の実績値を目標とする。							
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標（人） 単年 累積		625 10,632	360 13,811	360 14,171	1,635 17,242	1,635 18,877			
実績（人） 単年 累積		2,002 13,451	521 13,972	1,635 15,607	741 16,348	－ －	R6達成度	d	
達成率		320.3%	144.7%	454.1%	45.3%	－			
細 節		3 消防機能・交通安全を推進する							
重要業績評価指標（KPI）		消防団資機材整備件数（累積）					担当部課		
							危機管理部地域安全推進課		
指標の考え方		災害時に迅速に対応するため、消防団の資機材（ポンプ置場、消防車両等）を計画的に更新・整備し、適切な維持管理を行う。							
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 単年18件、累積20件 消防組織体制の見直しと費用対効果を考慮し、毎年度令和3年度実績と同程度で整備を進める。							
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標（件） 単年 累積		24 24	17 37	17 54	19 73	19 92			
実績（件） 単年 累積		18 20	15 35	16 51	16 67	－ －	R6達成度	b	
達成率		75.0%	88.2%	94.1%	84.2%	－			

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	1 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち			
節	4 誰もが平等に生きるための男女共同参画社会の推進			
数値目標（KGI）	男女共同参画社会が推進されていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 男女共同参画の社会づくり（①＋②） ①[満足・どちらかといえば満足] 45.1% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 18.8%			
設定値（%）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7（最終目標値）
	45.1	⇒	48.4	⇒ 63.9

■節の達成状況

主な担当課	復興企画部地域振興課		
関係課			
令和6年度の主な取組や成果			
政策・方針決定の場への女性の参画を推進するため、女性人材育成セミナーや女性活躍推進セミナーを開催し、地域において女性活躍のロールモデルとなりうる人材の育成や女性が活躍できる就業環境の整備に向けた意識啓発を図り、男女共同参画基本計画（第4次）に基づく各種施策について、関係各課と情報を共有しながら積極的に取り組んだ。 社会のあらゆる分野における意識啓発を図り、働きやすい職場環境づくりや子育てしやすい地域づくりを推進するため、令和6年度に市長及び市の管理職や市内企業等の代表者を対象にイクボス宣言式を開催し、24の企業等がイクボス宣言を行った。その他、管理職層を対象にしたイクボス研修や、中学生を対象にした助産師による講義、乳幼児とふれあえる妊婦疑似体験を実施し、命や家族の大切さを学び子育てに温かい地域社会づくりの機運醸成に繋げた。 さらに、性的指向や性自認など、多様な性のあり方や当事者への対応に関する理解を深めるため性的マイノリティ研修を開催し、正しい知識と理解を深めることができた。その他、石巻駅周辺での男女共同参画の啓発活動や男女共同参画パネル展を開催し、本市の男女共同参画に係る取組や相談窓口等の周知を行い、男女共同参画社会の推進につなげた。			
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 各種審議会・委員会における女性委員の登用が伸びていない。		女性委員の登用推進を図るため、女性人材リストの活用を各課に呼びかけるとともに、ポジティブ・アクションの実施を推進する。	
② 各種研修における市内事業所の参加者が少ない。		研修やセミナー内容の充実を図るとともに、SNS等を積極的に活用し、研修開催に係る情報発信の強化を図る。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△ ◎：「a または b」のみで a が半数以上 ○：「a または b」のみで a が半数未満 △：「c または d」があり d が半数未満 ×：d が半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細 節	1 政策・方針決定の場への女性の参画を推進する						
重要業績評価指標（KPI）	審議会・委員会等に占める女性委員の割合（単年）					担当部課	
						復興企画部地域振興課	
指標の考え方	庁内の審議会・委員会等の女性委員割合を増やし、政策・方針決定の場への女性の参画を推進する。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 25.8% 男女共同参加基本計画において、計画最終年度となる令和7年度目標値を40%としている。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（%）	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0		
実績（%）	28.0	27.8	28.1	28.2	－	R6達成度	C
達成率	70.0%	69.5%	70.2%	70.5%	－		
細 節	2 社会のあらゆる分野における意識啓発を図る						
重要業績評価指標（KPI）	「育児や家事の役割」について「夫婦同様」との回答割合（単年）					担当部課	
						復興企画部地域振興課	
指標の考え方	セミナーや研修等を開催し、男女共同参画への理解を深めることで、社会のあらゆる分野における意識啓発を図る。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 60.1% 男女共同参画基本計画において、計画最終年度となる令和7年度目標値を70%としている。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P87
目標（%）	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0		
実績（%）	49.9	66.1	72.4	75.7	－	R6達成度	a
達成率	71.2%	94.4%	103.4%	108.1%	－		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	1 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち			
節	5 持続可能な公共交通ネットワーク整備の推進			
数値目標（KGI）	公共交通ネットワークが整備されていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 公共交通ネットワークの整備（①＋②） ①[満足・どちらかといえば満足] 30.2% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 29.7%			
設定値（％）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7（最終目標値）
	30.2	⇒	37.4	⇒ 59.9

■節の達成状況

主な担当課	復興企画部地域振興課		
関係課			
令和6年度の主な取組や成果			
持続可能な公共交通体系を構築するため、公共交通に対する市民意識の改善として、市職員に対し毎月第3金曜日を「公共交通利用促進デー」とするモビリティマネジメント（※）を実践し、市職員の意識改善を図ったほか、県が主催する「視覚障害者情報交流会」に参加し、視覚障害者と公共交通に関する意見交換を行った。また、利用者の増加を図るために、住民バスのデータをコンテンツプロバイダに情報提供したことで、新たに「駅すばあと」「Yahoo！路線情報」で経路検索が可能となった。 市民生活を支える公共交通等を安定的に維持するため、河北地区では、定時定路線の住民バスを指定エリア内にて予約があったところを巡回する「ドアツードアのデマンド運行」に変更し、運行日を週2日から週5日に拡大した。桃生地区では、定額タクシーを他の人と乗合いする運行方法に変更し、運行日を週3日から週5日に拡大することで利便性の向上につなげ、公共交通ネットワークの維持確保を図った。 ※ モビリティマネジメント：「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に利用する状態」へと少しずつ変えていく一連の取組			
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	河北地区住民バスの運行日が少なくサービスレベルの向上が求められている。	路線を廃止し、自宅から目的地までを運行する運行方式に変更した上で、週2日運行から週5日運行に変更した。	
②	桃生ワンコインタクシーの運行日が少なくサービスレベルの向上が求められている。	乗合運行に変更することで、経費の削減を図り、週3日運行から週5日運行に変更した。	
③	住民バス等の運行情報が一部の経路検索コンテンツで反映されていない。	駅すばあと、Yahoo！経路情報で住民バスの経路検索が可能となった。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節	1 持続可能な公共交通体系を構築する							
重要業績評価指標（KPI）	公共交通利用促進事業実施回数（累積）					担当部課		
						復興企画部地域振興課		
指標の考え方	学生や市民を対象に、本市の公共交通に係るワークショップやヒアリング、意見交換会等を実施することにより、公共交通機関を身近なものに感じてもらうとともに、利用方法を学ぶことで公共交通の利用者増加を図る。							
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 3回 総合交通計画に基づき、毎年度2回程度の実施を維持する。							
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	R6達成度a	
目標（回） 単年 累積	2 2	2 4	2 6	2 8	2 10			
実績（回） 単年 累積	3 3	3 6	3 9	3 12	－ －			
達成率	150.0%	150.0%	150.0%	150.0%	－			
細節	2 市民生活を支える公共交通等を安定的に維持する							
重要業績評価指標（KPI）	公共交通ネットワーク充足率（単年）					担当部課		
						復興企画部地域振興課		
指標の考え方	日常生活等を支える交通手段を確保するため、路線バス、住民バス及び乗合タクシー、牡鹿地区市民バスの公共交通ネットワークを維持する。							
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 100% 現状の路線バスや住民バス・市民バスの路線を基本（100%）とし、今後も継続した維持確保を行う。							
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	R6達成度a	
目標（%）	100	100	100	100	100			
実績（%）	100	100	100	100	－			
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	－			

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	1 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち			
節	6 未来につなぐ震災伝承の推進			
数値目標（KGI）	震災を後世に伝える取組が推進されていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和4年4月～11月（震災遺構門脇小学校 施設利用者アンケート） 施設の満足度（①＋②） ①[大変良い] 79.3% ②[①以外]×1/2 9.2%			
設定値（％）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7（最終目標値）
	79.3	⇒	70.7	⇒ 88.5

■節の達成状況

主な担当課	危機管理部震災伝承課		
関係課			
令和6年度の主な取組や成果			
震災伝承を推進する取組として、伝承関係団体との連携による「石巻防災・震災伝承のつどい」を令和7年1月26日（日）に開催し、31団体の協力のもと600人の来場があり、市内で活動する防災・震災伝承関係団体の連携を深めるとともに、防災・震災伝承の活動について市民に伝えることができた。 震災遺構来訪者数の増加に向け、企画展の開催、ゴールデンウィークや夏休みには子ども向け防災学習行事のほか、年間を通じて語り部の話を聞く会等の啓発事業を行い、3月11日には追悼行事との連携事業として、夜間特別開館やライトアップなどを実施した。また、施設のPRとして、ホームページや各種SNSを活用した情報発信、仙台空港や松島など県内のホテル等へパンフレットを配布するなど来訪者の増加に努めたが、震災遺構門脇小学校で前年比4,444人減の41,662人、震災遺構大川小学校で前年比11,988人減の71,650人、合計16,432人減の113,312人となっており、前年度と比較し大きく減少した。			
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 震災遺構来訪者の増加（インバウンド需要等）に向けた取り組みが課題となっている。		施設のPRとして、ホームページやSNSを活用した情報発信、観光やインバウンド等を意識し、仙台空港や松島など県内のホテル等へパンフレットを配布した。	
② 市内小・中学校等の震災遺構活用に向けた取り組みが課題となっている。		出前講座「石巻市震災遺構のはなし」へ登録し、震災遺構や学校へ出向いての講座の開講、また、教育委員会との連携により震災遺構の活用を促している。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
B	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	○ ◎：「a または b」のみで a が半数以上 ○：「a または b」のみで a が半数未満 △：「c または d」があり d が半数未満 ×：d が半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節	1 震災伝承を推進する						
重要業績評価指標（KPI）	震災遺構来訪者数（単年）					担当部課	
						危機管理部震災伝承課	
指標の考え方	震災遺構来訪者数を増やし、東日本大震災の経験や教訓を多くの人々に伝え続ける。						
目標値の考え方	○大川小：令和3年7月開場 令和3年度 49,245人 門脇小：令和4年4月開場 年間の来訪者を門脇小58,000人（月4,800人）、大川小80,000人（月6,600人）を目標とし、企画展の開催や常設展示の更新等により維持を目指す。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7（最終）	再掲	地方創生 P83
目標（人）	45,000	138,000	138,000	138,000	138,000		
実績（人）	49,245	116,520	129,744	113,312	－	R6達成度	b
達成率	109.4%	84.4%	94.0%	82.1%	－		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	2 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち			
節	1 豊かな自然環境の保全・生活環境の充実			
数値目標（KGI）	環境保全対策が充実していると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 森林や河川、海などの自然環境の保全・活用（①＋②） ①[満足・どちらかといえば満足] 48.7% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 20.3%			
設定値（%）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7（最終目標値）
	48.7	⇒	48.7	⇒ 69.0

■節の達成状況

主な担当課		市民生活部環境課	
関係課			
令和6年度の主な取組や成果			
本市の自然環境や都市環境、大気環境や水環境等について取りまとめた「令和6年度版 石巻の環境」を公表し、環境の変化や市の活動について広く市民に周知することができた。また、磯観察&ビーチクリーンや自然観察会、木育講座等を通して自然環境について体験しながら学ぶ環境市民講座の開催や、昨年と同等の規模で環境フェアを開催し、多くの市民に環境イベントに参加いただくことで自然環境保全意識の高揚につなげることができた。 環境に配慮した生活を行っている市民の増加を目指し、町内会等へ継続的な清掃奉仕活動の実施を働きかけたほか、実施団体へ支援や助成を行うことにより、生活環境保全意識の向上を図ってきたが、目標値である毎年度2%ずつの増加を達成することはできなかった。 脱炭素の取組として、EV充電インフラを令和6年度に公共施設7箇所（15口）へ新たに設置し、累計で16施設（33口）の設置となり、EVの普及促進及び温室効果ガスの排出抑制が図られ、再生可能エネルギーの有効活用へつなげることができた。			
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 脱炭素社会の実現のため、再生可能エネルギー等の利用促進や脱炭素型の都市・地域づくりの推進について、具体的な取組を示すこと。		令和6年度は「地球温暖化対策実行計画」及び「生物多様性地域戦略」に関し、情報収集や整理を実施した。これらを含めた第4期石巻市環境基本計画を令和7年度に策定し具体的な取組を示すため、市民及び事業所への情報提供や活動促進等を図り、データ集積や分析を実施した。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
B	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	○ ◎：「a または b」のみで a が半数以上 ○：「a または b」のみで a が半数未満 △：「c または d」があり d が半数未満 ×：d が半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 自然環境保全の普及・啓発を行う						
重要業績評価指標（KPI）	「地球温暖化」に関心がある市民の割合（単年）						担当部課	
							市民生活部環境課	
指標の考え方		環境イベント（環境フェア）や環境市民講座等により意識啓発を図り、「地球温暖化」への関心を持つ市民の割合を増やす。						
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 72.1％ 国の温室効果ガスの排出量を2050年までに実質ゼロにする目標に向けて、2030年（令和12年）までに2013年（平成25年）比で46％削減する必要があることから、2030年（令和12年）までに「地球温暖化」に関心がある市民の割合を90％まで引き上げるため、毎年度2％ずつの増加を目指す。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標（％）	－	74.0	76.0	78.0	80.0			
実績（％）	72.1	76.7	76.1	77.1	－	R6達成度	b	
達成率	－	103.6％	100.1％	98.8％	－			
細節		2 生活環境を保全する						
重要業績評価指標（KPI）	環境に配慮した生活を行っているとは回答した市民の割合（単年）						担当部課	
							市民生活部環境課	
指標の考え方		自治会等の清掃奉仕活動実施団体を増やすことにより環境意識向上を図り、環境に配慮した生活を行う市民の割合を増やす。						
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 69.9％ 令和7年度に環境に配慮した生活を行う市民の割合を78.0％まで引き上げるため、毎年度2％ずつの増加を目指す。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標（％）	－	72.0	74.0	76.0	78.0			
実績（％）	69.9	71.9	73.2	72.9	－	R6達成度	b	
達成率	－	99.8％	98.9％	95.9％	－			
細節		3 再生可能エネルギー等を有効活用する						
重要業績評価指標（KPI）	再生可能エネルギーによる発電量（単年）						担当部課	
							市民生活部環境課	
指標の考え方		再生可能エネルギーを有効活用するため、太陽光システム、蓄電池、HEMS（家庭用エネルギー管理システム）設置に係る支援を行い、再生可能エネルギーによる発電量を増やす。						
目標値の考え方		○基準値：令和元年度 18,773千kWh 令和7年度に 28,500千kWhを目指し、毎年度2,000千kWhずつ増加を目指す。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標（千kWh）	－	22,500	24,500	26,500	28,500			
実績（千kWh）	20,520	21,367	22,202	22,853	－	R6達成度	b	
達成率	－	94.9％	90.6％	86.2％	－			

総合計画
 評価シート
 【総合計画基本計画】

章	2 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち			
節	2 持続可能な社会を目指すごみの減量化と資源循環の推進			
数値目標（KGI）	ごみの減量化・リサイクルが推進されていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） ごみ収集や処理、減量化などのごみ対策（①＋②） ①[満足・どちらかといえば満足] 71.0% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 11.5%			
設定値（%）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7(最終目標値)
	71.0	⇒	61.3	⇒ 82.5

■節の達成状況

主な担当課		市民生活部廃棄物対策課	
関係課			
令和6年度の主な取組や成果			
ごみの減量化を推進するため、燃やせるごみとして排出される「生ごみ」の水切り啓発と併せ、生ごみ減量容器（家庭用電気式生ごみ処理機・コンポスト容器等）の購入に対する補助事業を実施し、家庭での生ごみ排出量の削減につなげた。 また、ごみの再資源化を推進するため、ごみ総量の7割以上を占める家庭系ごみの分別指導を実施するとともに、3R（リデュース・発生抑制、リユース・再使用、リサイクル・再生利用）の推進について、出前講座の開催や広報紙等による継続的な啓発活動を実施した結果、家庭系ごみのリサイクル率について、令和6年度は最終目標値に向けて達成率を上げることができた。 さらに、プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律に基づき、本市においても令和8年度より一般家庭から排出される廃プラスチックの分別収集・再資源化を行うこととしているが、令和6年度は、プロポーザル方式により廃プラスチックの中間処理業者を選定することができ、分別収集等に向けた取組を進めることができた。			
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 再生資源集団回収団体数及び回収量が減少している。		地域連携会議や町内会連合会総会等の場を通して、町内会を中心に周知を行った。団体数及び回収量が引き続き減少傾向であることから、少子化や民間店頭回収の普及等の要因を踏まえながら、今後の事業継続について検討していく。	
② 廃プラスチック資源の循環利用推進のため、プラスチックの分別収集・処理スキームを定め、早期に実施しなければならない。		令和6年度は中間処理業者を決定し、事業の進捗を図ることができた。今後は、処理スキームを決定し、分別の方法や集積所への排出方法について、住民説明会や出前講座を実施し、周知啓発を図っていく。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
B	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	○ ◎：「a または b」のみで a が半数以上 ○：「a または b」のみで a が半数未満 △：「c または d」があり d が半数未満 ×：d が半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細 節	1 ゴミ減量化を推進する						
重要業績評価指標（KPI）	市民一人あたりのごみ排出量（単年）					担当部課	
						市民生活部廃棄物対策課	
指標の考え方	市民の意識醸成、再資源を促進し、市民一人あたりのごみ排出量を減らす。（発生抑制）						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 1,054g/人・日 一般廃棄物処理基本計画に基づき、令和7年度までに基準値から74g/日の削減を目指す。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（g/人・日）	1,029	1,017	1,004	992	980		
実績（g/人・日）	1,051	1,059	994	996	－	R6達成度	b
達成率 ※	97.9%	96.0%	101.0%	99.5%	－		
細 節	2 再資源化を推進する						
重要業績評価指標（KPI）	家庭系ごみリサイクル率（単年）					担当部課	
						市民生活部廃棄物対策課	
指標の考え方	ごみ総量の7割以上を占める家庭系ごみの分別を徹底し、家庭系ごみのリサイクル率を上げる。（再使用、再生利用）						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 12.1% 一般廃棄物処理基本計画に基づき、令和7年度までに基準値から2.8%の増加を目指す。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（%）	13.0	13.5	13.9	14.4	14.9		
実績（%）	10.2	9.7	10.0	11.9	－	R6達成度	b
達成率	78.4%	71.8%	71.9%	82.6%	－		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	2 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち			
節	3 安全安心な住環境と都市機能の整備の推進			
数値目標（KGI）	住環境と都市機能の整備が推進されていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 今後の居住意向（①＋②） ①[今の場所（住所）にずっと住み続けたい・当分の間は今の場所に住み続けたい ・市内の別な場所（住所）に移りたい] 87.6% ②[一度市を離れるが、ゆくゆくは戻ってきたい・できれば市外に移りたい ・すぐにでも市外に移りたい]×1/2 5.0%			
設定値（％）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7（最終目標値）
	87.6	⇒	50.5	⇒ 92.6

■節の達成状況

主な担当課	建設部都市計画課		
関係課	建設部河川港湾高規格道路整備推進課、建設部道路課、建設部住宅課、建設部建築指導課、建設部下水道建設課		
令和6年度の主な取組や成果			
持続可能な生活基盤整備の推進のため、令和6年10月に「石巻市立地適正化計画」を策定・公表し、居住利便性が高く、まとまりのあるエリアを「都市型居住促進エリア」として定め居住を促進することで人口割合増加を目指し、当該エリアのまちづくりの方向性を示すことができた。 災害に対する備えのため、危険ブロック塀の所有者に対し個別相談対応や啓発文書の送付等を実施し、市補助金制度の案内等を行ったが、除却実績は令和5年度を下回る結果となった。 安全安心な公営住宅を提供するため、移転対象世帯に対し移転計画に関する個別説明や意向確認を行った結果、目標件数には届かなかったものの30世帯が復興公営住宅等に移転した。 空き家対策として、登録事業者と媒介契約を締結している場合も空き家バンクに登録可となるよう「空き家バンク実施要綱」の一部改正を行った結果、登録戸数の増加につながった。 市民生活や経済活動を支える道路や下水道の整備は概ね目標どおりに進捗したが、公園整備については、国からの交付額減少や物価高騰等の影響から計画通りの更新はできなかった。 石巻港の整備について、長年の要望活動により雲雀野地区耐震強化岸壁の整備が令和5年度から事業化され整備促進を図っているが、取扱貨物量は社会情勢等の影響により微減傾向となった。			
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	立地適正化計画に基づいた誘導を図るためには、計画内容や必要性の浸透と合わせて具体的な施策の展開が課題となっている。	出前講座の活用やパンフレット等の作成により周知を図るとともに、庁内検討会議において他市の事例等を参考に具体的な施策の検討を進める。	
②	危険ブロック塀の所有者の危機管理意識が低下していることが課題となっている。	危機管理意識の低下の原因には、震度4以上の地震の発生が落ち着いている点や物価高騰による経済的な理由が大きいが、災害時における事故減少のためにも引き続き除却の必要性の啓発に努める。	
③	高齢であること等の理由により、移転に踏み切れない世帯が存在するほか、一部の復興公営住宅に移転希望が偏っている等、移転先の確保が課題となっている。	移転計画を改定し、第1期移転対象世帯への登録制マッチングを実施する等、移転事業を推進するための施策を実施することとした。	
内部評価		定性評価	定量評価【KPI】
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△ ◎：「a または b」のみで a が半数以上 ○：「a または b」のみで a が半数未満 △：「c または d」があり d が半数未満 ×：d が半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細 節		1 持続可能な生活基盤整備を推進する						
重要業績評価指標（KPI） ★R6.11 指標見直し		都市型居住促進エリア内の人口割合（累計）					担当部課	
							建設部都市計画課	
指標の考え方		立地適正化計画で定めた「都市型居住促進エリア」を生活サービス施設や公共交通にアクセスしやすい利便性の高いエリアとなるようまとまりのある居住地形成を図り、当該エリア内の居住人口の割合を上げる。						
目標値の考え方		○基準値：令和2年 60％ 立地適正化計画において、計画最終年度となる令和22年度の目標値を65％としており、計画期間であるR6年度からR22年度までの17年間で毎年0.3％ずつの増加を目指す。 各年3月末時点の住民基本台帳字・丁別人口により毎年算出。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（％）		－	－	－	60.30	60.60		
実績（％）		－	－	－	57.10	－	R6達成度	b
達成率		－	－	－	94.6%	－		
細 節		2 災害に対する備えを充実させる						
重要業績評価指標（KPI）		危険ブロック塀除却等事業助成件数（単年）					担当部課	
							建設部建築指導課	
指標の考え方		災害時の通行人の安全を確保するため、危険ブロック塀等除去件数を増やす。						
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 113件 これまでの実績の検証、危険ブロック塀所有者への戸別訪問等により、令和4年度は110件、それ以降は毎年度100件を目指す。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（件）		100	110	100	100	100		
実績（件）		113	135	64	53	－	R6達成度	d
達成率		113.0%	122.7%	64.0%	53.0%	－		
細 節		3 安全安心な公営住宅を提供する						
重要業績評価指標（KPI）		移転計画に基づく市営住宅から復興公営住宅等への移転世帯数（累積）					担当部課	
							建設部住宅課	
指標の考え方		耐用年限が経過した公営住宅の用途廃止を推進し、適正な公営住宅の戸数を管理・確保するとともに、復興公営住宅を有効活用するため、既存の市営住宅から復興公営住宅等への移転件数を増やす。						
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 単年35件 累積53件 令和2年度事業開始。今後も同程度の実績で推移することが見込まれることから、毎年度40件の移転を目指す。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（件） 単年 累積		－ －	40 93	40 133	40 173	40 213		
実績（件） 単年 累積		35 53	28 81	31 112	30 142	－ －	R6達成度	c
達成率		－	70.0%	77.5%	75.0%	－		

細 節		4 空き家対策を強化する						
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し		空き家バンク登録戸数（累積）					担当部課	
							建設部住宅課	
指標の考え方		空き家を有効活用するため、空き家物件情報をホームページ上などで提供する「空き家バンク」の登録戸数を増やす。						
目標値の考え方		○基準値：令和5年度 単年17件（累積34件） 令和3年度に事業を開始し、登録に関する相談は多く寄せられているが、未登記や未相続等が課題となっている。令和5年度より固定資産税の納税通知を送付する際、リーフレットを同封し、空き家バンクの周知方法を拡大した。 今後も空き家が増え続け、登録戸数の増が見込まれるため、毎年度20件の登録を目指す。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	a
目標	（件） 単年 累積	20 20	10 19	10 29	20 54	20 74		
実績	（件） 単年 累積	9 9	8 17	17 34	20 54	－ －	R6達成度	
達成率		45.0%	80.0%	170.0%	100.0%	－		
細 節		5 道路整備を推進する						
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し		幹線市道の改良率（単年）					担当部課	
							建設部道路課	
指標の考え方		幹線市道の道路改良率を向上させる。 ※道路改良率＝改良済延長／道路実延長 ※幹線市道：1級及び2級市道						
目標値の考え方		○基準値：令和5年度87.3% 県内平均 令和5年3月31日現在 88.4% 県内平均を目標に令和7年度までに87.5%を目指す。 ※平成29年度から令和3年度まで（5年間）の延長進捗率0.1%						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	a
目標	（%）	－	86.8	86.8	87.4	87.5		
実績	（%）	86.7	87.1	87.3	87.4	－	R6達成度	
達成率		－	100.3%	100.5%	100.0%	－		
細 節		6 公園整備を推進する						
重要業績評価指標（KPI）		長寿命化計画に基づく公園施設更新施設数（累積）					担当部課	
							建設部都市計画課	
指標の考え方		公園施設の安全確保と機能保全のため、長寿命化計画に基づき公園施設の更新を計画的に進める。						
目標値の考え方		公園施設長寿命化計画に基づき更新施設数を設定した。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	d
目標	（件） 単年 累積	－ －	42 42	13 55	21 76	24 100		
実績	（件） 単年 累積	0 0	50 50	6 56	9 65	－ －	R6達成度	
達成率		－	119.0%	46.1%	42.8%	－		

細 節		7 下水道等の整備を推進する						
重要業績評価指標（KPI）	公共下水道（汚水）整備率（累積）						担当部課	
							建設部下水道建設課	
指標の考え方		生活環境の改善や公共用水域の水質保全と公衆衛生の向上を図るため、公共下水道の整備を推進する。						
目標値の考え方		○基準値：令和3年度65.3% 毎年度24.3haを目標に整備を推進する。全体計画面積に対する整備済面積で算出。 ※平成23年度から令和2年度まで（10年間）の平均整備面積24.3ha						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（％）		－	65.9	66.2	66.8	67.3		
実績（％）		65.3	65.7	65.6	65.8	－	R6達成度	b
達成率		－	99.6%	99.0%	98.5%	－		
細 節		8 河川・港湾の整備を推進する						
重要業績評価指標（KPI）	石巻港取扱貨物量（単年）						担当部課	
							建設部河川港湾高規格道路整備推進課	
指標の考え方		東北全体に及ぶ原材料、飼料の物流拠点である石巻港において、生活・産業の安定・拡大のために、取扱量拡大のための取組を行う。						
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 337万t（令和2年総取扱量） 現状の実績から取扱増加量（期待値）を想定し、500万tとした。 ※令和5年度実績値：令和4年総取扱量						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（万t）		440	378	419	460	500		
実績（万t）		337	357	329	305	－	R6達成度	c
達成率		76.5%	94.4%	78.5%	66.3%	－		

総合計画
 評価シート
 【総合計画基本計画】

章	3 共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち			
節	1 安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実			
数値目標（KGI）	妊娠・出産・子育てができる環境が充実していると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 育児相談やワークライフバランスの充実などの子育て支援（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 50.0% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 17.6%			
設定値（%）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7（最終目標値）
	50.0	⇒	48.3	⇒ 67.6

■節の達成状況

主な担当課	保健福祉部子ども保育課		
関係課	保健福祉部健康推進課、保健福祉部子育て支援課		
令和6年度の主な取組や成果			
妊娠から子育て期における切れ目ない支援を実現するため、保健師又は助産師が家庭訪問し、健康状態や養育状況の確認や育児相談を受ける新生児訪問事業を実施し、目標値を達成することができた。また、エジンバラ産後うつ病質問票を用いて産後うつ病の早期発見に努め、養育環境等で支援が必要な方に対しては、産後ケア事業や各種サービスの紹介と併せ、出産育児関連用品の購入費用の負担軽減を図る「子育て応援給付金申請」に関する面談を実施したことで、支援対象者の的確なスクリーニングと伴走型相談支援につながった。 子どもを産み育てやすい環境づくりのため、子育て世代包括支援センターの「いっしょえきまえ」「いっしょへびた」の相談員が、来所する妊産婦とともに家庭の状況にあった子育て支援メニューの利用計画が立てられる「産前産後マイプラン」を作成することで妊産婦の安心につなげることができ、目標値を達成することができた。 子どもが安心して過ごせる環境を整備するため、令和6年度に全地区にあたる28地区児童クラブの民間委託が完了し、支援員等の人材確保が図られた。また、民間事業者向けに雇用する保育士の宿舍借上げに対する費用を一部補助する「保育士宿舍借り上げ支援事業」を令和6年度から新たに実施し、保育士確保対策を進めた。			
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	少子化の進行により対象数は年々減少しているが、エジンバラ産後うつ病質問票によるハイリスク者が一定数みられる状況が継続している。	産婦健診受診後に医療機関からの連絡票により、支援を要する可能性がある者については、早期に新生児訪問を実施し、関係機関につなぐことで、産後うつ病の予防や育児不安の改善と併せ、各種サービスの紹介を行った。	
②	妊娠期から子育て期にかけて、利用できるサービスの情報提供と、妊産婦のマタニティブルーや産後うつを予防するためのサービス利用につなげていく。	令和6年度、177件のマイプランを作成し、各種サービスを理解し、利用につながっており、今後も推進していく。	
③	近年、児童クラブ全体の利用者数は横倍の状況が続いているが、一部の地区で待機児童が発生している。	待機児童対策は社会情勢（少子化の進行、女性の就業率の増加等）や地域の実情を踏まえ、専用教室及び小学校余裕教室など既存施設の活用等により放課後の受け皿を確保していく。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	○	◎	◎
◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない		◎：「a または b」のみで a が半数以上 ○：「a または b」のみで a が半数未満 △：「c または d」があり d が半数未満 ×：d が半数以上	

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細 節		1 妊娠から出産、子育て期における切れ目のない支援を行う							
重要業績評価指標（KPI）	新生児訪問事業（乳児全戸訪問事業）実施率（単年）							担当部課	
								保健福祉部健康推進課	
指標の考え方		出産から子育て期の継続的な支援を行うため、新生児の訪問事業（保健師による生後4ヶ月未満の赤ちゃんがいる世帯への訪問事業）の実施率を上げる。							
目標値の考え方		○基準値：令和元年度 98.3% 対象期間中に里帰り出産等で訪問できない世帯があるが、それ以外の世帯へ訪問を実施する。							
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P86	
目標（%）		98.5	98.5	98.5	98.5	98.5			
実績（%）		94.4	98.8	97.0	98.5	－	R6達成度	a	
達成率		95.8%	100.3%	98.4%	100.0%	－			
細 節		2 子どもを産み育てやすい環境づくりを推進する							
重要業績評価指標（KPI）	子育て世代包括支援センター相談窓口における妊産婦に対する産前産後プランの作成数（単年）							担当部課	
								保健福祉部子育て支援課	
指標の考え方		妊産婦に対し、妊娠期から子育て期までの準備や利用サービス、各種健診を把握してもらい、産み育てやすい環境をつくる。							
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 対象となる妊産婦相談者数 66人 令和4年9月開始。年間出生数の約2割となる140人へのプランの作成を目指す。（いっしょえきまえ70人、いっしょへびた70人）							
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標（件）		－	70	140	140	140			
実績（件）		－	133	204	177	－	R6達成度	a	
達成率		－	190.0%	145.7%	126.4%	－			
細 節		3 子どもが安心して過ごせる環境を整備する							
重要業績評価指標（KPI）	保育施設及び放課後児童クラブ待機児童数（単年）							担当部課	
								保健福祉部子ども保育課 保健福祉部子育て支援課	
指標の考え方		保育施設等の待機児童数を減少させ、子育て環境を充実させる。							
目標値の考え方		○基準値：令和2年度（4月時点） 保育施設12人、児童クラブ170人 保育施設や放課後児童クラブへ申請したものの、定員超過等のため入所・入級できない児童が発生しないよう毎年度0人を目指す。							
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P86	
目標（人） 保育施設 児童クラブ		0 0	0 0	0 0	0 0	0 0			
実績（人） 保育施設 児童クラブ		8 5	3 0	3 9	2 2	－	R6達成度	b	
達成率		－	－	－	－	－			

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	3 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち			
節	2 生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実			
数値目標（KGI）	高齢者福祉が充実していると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○基準値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 高齢者・障がい者への福祉サービスの質の向上（①＋②） ①[満足・どちらかといえば満足] 48.2% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 21.8%			
設定値（％）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7（最終目標値）
	48.2	⇒	44.9	⇒ 70.0

■節の達成状況

主な担当課		保健福祉部介護福祉課			
関係課					
令和6年度の主な取組や成果					
高齢者の生きがいづくり推進のため、高齢者の余暇時間を活用した「高齢者の生きがいと創造の事業」を実施し、参加者が趣味等に熱中できる環境を提供することで「生きがい」の創出を図っている。専門講師による様々な講座を開設し、知識と経験を生かした創造的活動を提供することで、高齢者の外出機会の創出にも繋がっている。令和6年度には本庁地区において「ステンドグラス講座」を新たに開設し、年間を通じた事業を実施したことで、昨年度より「生きがい」を持ちながら暮らしている高齢者の割合を増やすことができた。 介護予防等の取組の推進については、各事業について市民への周知窓口を担っている介護事業者等と情報共有を行うことで事業周知が図られ、利用者が増加するとともに身体機能の低下を防ぎ、生活機能の向上が図られた。 高齢者の生活支援については、介護保険制度以外の日常生活で必要となる「高齢者在宅福祉サービス」を在宅で生活する高齢者に対し提供することで、安心して暮らせるよう生活支援を図っているが、年々利用者件数は減少しているため、今後も周知に努めていく。					
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性			
①	生きがいを持ちながら生活することで、心身の健康維持や向上に繋がることを周知し、介護予防事業等への参加を通じて生きがいを持つ高齢者の増加を図る必要がある。	高齢者が生きがいと感じる趣味活動事業等の内容を充実してより多くの高齢者に参加してもらうことができた。			
②	加齢による外出頻度の低下により、身体機能が悪化して活動量の減少がみられる高齢者が多いことから、理学療法士訪問の利用促進を図り、対象者数を増加する必要がある。	理学療法士訪問の窓口となる地域包括支援センターに対して、制度内容の説明を行い、利用促進を図った。また、介護予防訪問指導事業と連携したことにより、対象数と実績回数の増加がみられた。			
③	高齢者在宅福祉サービス事業利用について、サービスを必要としている高齢者へ漏れなく提供することが課題である。	広報やホームページでの周知に加え、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所への事業説明等を行ったほか、市報に高齢者福祉サービス等の特集を掲載した。			
内部評価		定性評価		定量評価【KPI】	
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない		△	◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細 節		1 高齢者の生きがいをづくりを推進する						
重要業績評価指標（KPI）	「生きがい」を持ちながら暮らしている高齢者の割合（単年）						担当部課	
							保健福祉部介護福祉課	
指標の考え方		高齢者の心身の健康維持や向上を図るためには、日々の生活の中で「生きがい」を持つことが重要であることから、「生きがい」を持つ高齢者の割合を高める。						
目標値の考え方		○基準値：令和2年度 67.7% 策定時において、第3期石巻市地域福祉計画（平成29年度～令和3年度）の目標値を達成していなかったため、同目標値とした。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P91
目標（％）		80.0	80.0	80.0	80.0	80.0		
実績（％）		70.8	70.1	72.6	73.8	－	R6達成度	b
達成率		88.5%	87.6%	90.7%	92.2%	－		
細 節		2 介護予防等の取組を推進する						
重要業績評価指標（KPI）	理学療法士の訪問回数（単年）						担当部課	
							保健福祉部介護福祉課	
指標の考え方		高齢者が在宅で自立した生活を送れるように支援するため、対象者への身体等の評価や体操指導を行う理学療法士による訪問回数を維持する。						
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 104回 理学療法士の所属事業所との契約において、訪問回数は3～6か月の間に3～6回程度の訪問と定めており、対象者を20名程度と想定した。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（回）		－	120	120	120	120		
実績（回）		104	105	108	110	－	R6達成度	b
達成率		－	87.5%	90.0%	91.6%	－		
細 節		3 高齢者の生活支援を推進する						
重要業績評価指標（KPI）	高齢者在宅福祉サービス事業利用者件数（単年）						担当部課	
							保健福祉部介護福祉課	
指標の考え方		高齢者とその家族へ支援を行うため、高齢者在宅福祉サービス事業（寝具洗濯、バリアフリー補助、タクシー券、日常生活用具給付、訪問理美容）の利用者数を増やす。						
目標値の考え方		○基準値：令和元年度 885件 近年の最大値である平成28年度の利用件数1,189件を目指す。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（件）		1,162	1,190	1,190	1,190	1,190		
実績（件）		997	1,023	851	792	－	R6達成度	c
達成率		85.8%	85.9%	71.5%	66.5%	－		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	3 共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち			
節	3 共に安心して暮らせる障害福祉の充実			
数値目標（KGI）	障害者にやさしいまちづくりが推進されていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○基準値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 高齢者・障がい者への福祉サービスの質の向上（①＋②） ①[満足・どちらかといえば満足] 48.2% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 21.8%			
設定値（％）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7（最終目標値）
	48.2	⇒	41.2	⇒ 70.0

■節の達成状況

主な担当課	保健福祉部障害福祉課		
関係課			
令和6年度の主な取組や成果			
障害者の自立と社会参加への支援については、障害者等が能力・適性に応じ自立した生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービス等の給付を行うことにより、障害者等の日常生活及び社会生活を営むための支援を継続して行った。令和6年度からは、補助犬（盲導犬・聴導犬・介助犬）の利用者に対し、飼育管理（フード代等）、健康管理（予防接種代等）、衛生管理（シャンプー代等）に係る費用の助成を行っており、補助犬利用者の自立生活支援及び負担軽減につながり、障害福祉サービス利用人数については、目標値は達成できなかったものの、高水準を維持することができた。 相談支援については、障害者総合支援法に基づき、障害者及びその家族からの日常生活上の困りごとや福祉サービスに関すること等の多様な相談に対し、情報の提供及び専門的な相談支援を行い、障害者等が地域で暮らしていくため、個々に必要なサービスの提供を行うことができた。また、障害者差別解消法の改正により令和6年4月から義務化された民間事業者への合理的配慮の提供について研修会を実施し、制度への理解及び周知を図った。			
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 障害者が地域で希望する生活を送るために必要な障害福祉に関するサービスについて、事業の周知が十分にされているか検証が必要となっている。		各種制度を掲載した障害福祉ガイドブックは、ホームページに掲載しているほか手帳交付時に説明を行っているが、生活を送る上で変化する多様なニーズに対応するため、全手帳所持者へガイドブックを送付することで周知を図った。	
② 障害者の地域生活や就労の支援の強化及び将来に向けた不安の解消に対応するため、相談支援体制の充実を図っていく必要がある。		基幹相談支援センターを中心とした事例検討会やケース会議のほか随時研修を実施することにより、今後も相談支援体制についての連携や強化に努めていく。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
B	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	○ ◎：「a または b」のみで a が半数以上 ○：「a または b」のみで a が半数未満 △：「c または d」があり d が半数未満 ×：d が半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節	1 障害者の自立と社会参加への支援を行う						
重要業績評価指標（KPI）	障害福祉サービス利用人数（単年）					担当部課	
						保健福祉部障害福祉課	
指標の考え方	障害のある人が住み慣れた地域で自立した生活を継続するため、障害福祉サービスの利用人数を増やし、ライフステージに応じた切れ目のない支援を行う。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 1,477人 障害者手帳所持者が減少傾向にあることから、近年のサービス利用実績の推移に基づき利用人数を算出し、併せて障害者の利用ニーズ等を勘案し数値設定した。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（人）	1,577	1,601	1,627	1,647	1,668		
実績（人）	1,477	1,567	1,633	1,608	－	R6達成度	b
達成率	93.6%	97.8%	100.3%	97.6%	－		
細節	2 相談・地域生活支援体制を構築する						
重要業績評価指標（KPI）	障害者相談支援件数（単年）					担当部課	
						保健福祉部障害福祉課	
指標の考え方	必要な情報の提供及び権利擁護を行うため、相談・支援体制を充実させ、障害者相談支援件数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 12,649件 令和7年度に向けて毎年度60件弱ずつ相談支援件数の増加を目指す。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（件）	12,700	12,775	12,858	12,925	13,000		
実績（件）	12,053	11,953	13,319	12,890	－	R6達成度	b
達成率	94.9%	93.5%	103.5%	99.7%	－		

総合計画
 評価シート
 【総合計画基本計画】

章	3 共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち			
節	4 誰もが元気に暮らせる心と体の健康づくりの推進			
数値目標（KGI）	心と体の健康づくりが推進されていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査）生活習慣予防や食育など健康づくりの取り組み(①+②) ①[満足・どちらかといえば満足] 58.3% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 15.2%			
設定値（％）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7(最終目標値)
	58.3	⇒	65.4	⇒ 73.5

■節の達成状況

主な担当課		保健福祉部健康推進課	
関係課			
令和6年度の主な取組や成果			
各種がん検診受診率向上の取組については、受診しやすい環境の整備として、受診者が足を運びやすい環境での実施や、新たに利便性を考慮した会場を選定するなど、より受診しやすくなるような環境の提供を図った。また、子宮頸がん検診について、感染原因の「ヒトパピローマウイルス（HPV）」の感染状況を調べるHPV自主検査事業を令和5年度に引き続き実施し、20歳から30歳の女性で未受診者に対する対策を講じ、がん予防及びがん検診に対する意識を高めることができ、目標値を達成することはできなかったが、昨年度と同水準を維持することができた。 地域医療体制の充実については、引き続き石巻市医師会、桃生郡医師会及び石巻歯科医師会と委託契約を締結し、休日等急患診療対策事業を実施した。また、当該事業における産婦人科については、医師数の減少等に伴い医師会での実施が困難となったことから、令和6年度から産婦人科の受診を希望する救急患者の対応として、石巻赤十字病院救急外来での受入による診療体制を確保し、安定した受診機会の確保と安全安心な救急診療提供体制の維持・継続を図ることで、市民の急病に対する不安を解消し、安心して暮らせる医療体制を維持することができた。			
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 利便性向上及び啓発の取組を行っているが、がん検診について、総じて受診率が低い傾向にある。		本庁地区の胃がん・肺がん検診において、保健区毎に検診車を配車し受診者が足を運びやすい環境で実施したほか、土曜健（検）診、夜間健（検）診では、新たにイオンスーパーセンター等利便性を考慮した会場を選定するなど、より受診しやすくなるような環境づくりに努めた。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節	1 健康づくりを推進する						
重要業績評価指標（KPI）	各種がん検診受診率（単年）					担当部課	
						保健福祉部健康推進課	
指標の考え方	がん死亡率が全国や県と比較して高い傾向にあることから、がん検診の受診率を上げ、早期発見・早期治療につなげる。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 15.1% 各検診において平成28年度から令和元年度で最も多かった受診者数から毎年度1%ずつ増加を目指し、受診率で毎年度0.2～0.3%ずつ増加を目指す。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（%）	16.2	16.5	16.8	17.1	17.3		
実績（%）	14.2	16.2	15.8	15.8	－	R6達成度	b
達成率	87.6%	98.1%	94.0%	92.3%	－		
細節	2 地域医療体制を充実させる						
重要業績評価指標（KPI）	休日当番医実施率（単年）					担当部課	
						保健福祉部健康推進課	
指標の考え方	医療機関の当番制によって、休日・祝日における休日当番医を実施し、休日における救急患者の医療体制を確立する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 100% 医療機関の休日における実施率100%を維持する。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（%）	－	100	100	100	100		
実績（%）	100	100	100	100	－	R6達成度	a
達成率	－	100.0%	100.0%	100.0%	－		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	3 共に支え合い誰もが生きがいをもち自分らしく健康に暮らせるまち			
節	5 みんなが共に支え合う地域共生社会の実現			
数値目標（KGI）	地域で支え合いが行なわれていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 地域包括ケア体制の推進（①＋②） ①[満足・どちらかといえば満足] 53.1% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 17.7%			
設定値（％）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7（最終目標値）
	53.1	⇒	44.0	⇒ 70.8

■節の達成状況

主な担当課	保健福祉部保健福祉総務課		
関係課	保健福祉部総合相談センター		
令和6年度の主な取組や成果			
地域互助活動推進事業について、助成期間の延長やイベント活動に係る助成事業の実施期間延長、そのほか助成限度額の変更など、制度の見直しを実施した。その結果、地域において本制度の周知が進んだことで、昨年度に引き続き、活動実施団体件数が増加し、かつ複数の事業を申請するケースが増加したことで、申請事業件数が40%増の100件となり、地域住民の主体的な互助活動の促進と地域コミュニティの醸成が図られた。 奨学金返還支援事業について、申請者の利便性を考慮した手続きの簡略化などの制度改革を行う上で、返還奨学金の助成対象年度の見直しを行っていることから、新規申請者の実績は21件となっている。次年度の成果を踏まえ、今後も地域包括ケアを推進する上で必要な医療・福祉・介護の専門職の人材確保と定住促進を図っていく。 各種相談事業について、引き続き弁護士による無料法律相談を定期的に実施することで専門的事案への支援につながり目標人数を達成することができた。そのほか、家庭児童・母子相談及び市民の日常生活における複雑多様な相談窓口を一元化することで、問題解決に向け各関係機関等と連携し助言のほか適切な支援につなげることができた。 各種虐待防止啓発事業について、講演会や出前講座等の実施のほか、各種会議やイベント等様々な機会をとらえ虐待防止のリーフレットや相談窓口周知用のチラシを広く配付し各種虐待の未然防止及び重症化を防ぐための啓発ができた。			
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 地域における互助活動の意識醸成のために助成を行う事業ではあるものの、各団体が自立して活動を行うまでには至っていない。		令和6年度から助成期間を「10年」、イベント活動は「令和10年度まで」に延長した。また、6年目以降の助成限度額を事業実施経費の1/2以内で各区分の限度額を超えない範囲とすることで、将来的な団体の自立と地域住民の主体的な互助活動の促進及び地域コミュニティの醸成を促進していく。	
② 医療、福祉、介護の専門職の更なる人材確保及び定住促進。(奨学金返還支援事業)		令和6年度からオンライン申請を導入し申請手続きの簡略化を実現し、申請者の利便性の向上を図った。今後は対象者の目に触れやすいSNSなどを活用し制度を周知し、専門職の人材の確保や定住促進によって地域包括ケアを推進していく。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△ ◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 地域での孤立防止を推進する							
重要業績評価指標（KPI）	地域互助活動実施団体件数（単年）							担当部課	
								保健福祉部保健福祉総務課	
指標の考え方		高齢者・障害者・子ども・生活困窮者を対象とした日常生活上の助け合い活動（送迎支援、買物支援、見守り・声がけ支援等）を行う団体数を増やす。							
目標値の考え方		○基準値：令和2年度 11件 令和5年度以降は同様の事業を整理統合し、申請実績のない自治会等に対して「互助」の意識醸成を図ることを目的として事業の見直しをすることから、これまでの実績に加え、新型コロナウイルス感染症の影響下においても地域活動に取り組んでいる団体の実績を勘案し目標値とした。							
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P91		
目標（件）	11	15	55	58	61				
実績（件）	13	14	41	56	－	R6達成度	b		
達成率	118.1%	93.3%	74.5%	96.5%	－				
細節		2 地域で支える活動と在宅医療・介護の連携を推進する							
重要業績評価指標（KPI）	奨学金返還支援事業助成人数（単年）							担当部課	
								保健福祉部保健福祉総務課	
指標の考え方		市内に居住し、市内の事業所に勤務する医療、福祉、介護等の専門職の方に対し、奨学金返還金を助成することにより、医療、福祉、介護人材を確保する。							
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 36人 これまでの実績に加え、年々申請者が増加傾向にあることから、新規申請者の増加を見込んだ目標値とした。							
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P79		
目標（人）	－	41	46	46	46				
実績（人）	36	39	36	21	－	R6達成度	d		
達成率	－	95.1%	78.2%	45.6%	－				
細節		3 各種相談事業を充実させる							
重要業績評価指標（KPI）	弁護士無料法律相談者数（単年）							担当部課	
								保健福祉部総合相談センター	
指標の考え方		複雑化・多様化する相談に対応するため、弁護士による無料相談を実施し、専門的事案を支援する。							
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 198人 平成30年度から令和3年度における弁護士無料法律相談の相談者数の平均値を参考に設定した。							
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲			
目標（人）	－	189	189	189	189				
実績（人）	198	200	209	214	－	R6達成度	a		
達成率	－	105.8%	110.5%	113.2%	－				

細節	4 各種虐待防止・DV被害者支援を強化する						
重要業績評価指標（KPI）	虐待防止啓発活動参加者数（単年）					担当部課	
						保健福祉部総合相談センター	
指標の考え方	虐待防止に係る啓発活動を実施し、虐待に対する市民の意識や理解を高め、虐待の未然防止や早期発見につなげる。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 88人 平成30年度から令和3年度における出前講座等の参加者数の平均値を参考にし、毎年度30人ずつ増加を目指す。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	b
目標（人）	－	210	240	270	300		
実績（人）	88	301	358	225	－	R6達成度	
達成率	－	143.3%	149.1%	83.3%	－		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	4 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
節	1 賑わいと活気にあふれる商工業の振興			
数値目標（KGI）	商工業振興策が充実していると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 商工業の振興（①＋②） ①[満足・どちらかといえば満足] 43.5% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 19.4%			
設定値（％）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7（最終目標値）
	43.5	⇒	44.2	⇒ 62.9

■節の達成状況

主な担当課		産業部商工課			
関係課					
令和6年度の主な取組や成果					
事業者への経営支援については、新たな産業創出、研究開発、産業人材の育成等の創造的事業を行う事業者に対し産業創造助成金を活用した事業者支援を行い、それぞれの事業を経て、新たな取引先や顧客の獲得、商品の品質向上が図られ、事業者の高度化につながった。 就業環境の充実については、人気事業であるツアー事業と各種チケット等の割引事業を増やすなど、会員にニーズに沿った事業を実施した結果、99.2%の達成率となった。 地域ブランドの育成については、助成金を活用したブランド育成件数は3件のみであったが、6次産業化・地産地消推進センターを活用した販売促進や販路開拓は、昨年度並みの実績で推移しており、地域の様々な事業者との連携強化が図られ、地域資源の高付加価値化が促進された。 中心市街地活性化の推進については、イベント開催や観光客の増加により主要な施設の利用者が増加した。					
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性			
① 6次産業化・地産地消推進助成金において、1次・2次・3次事業者間の足並みが揃わなかったことなどが要因で目標件数に至らなかった。		6次産業化の取組みはセンターや助成金が創設された当時と比較すると認知度及びニーズが高まっていることから、引き続き、センターと連携し、制度の周知を強化していくほか、SNS等を通じて6次産業化にかかる取組事例のPRを行い、事業者が6次産業化に向き合うきっかけづくりを推進していく。			
② 勤労者福祉サービスセンターの会員を対象とした自己啓発事業や健診事業等の福利事業はコロナ禍以降、事業の開催が制限されたこともあり、参加者数が目標には届かなかった。		会員からの需要が多い、人気事業であるツアー事業と各種チケット等の割引事業の回数を増やしたことにより、参加者の増加が図られたことから、今後も会員からの要望に応じた事業を展開していく。			
内部評価		定性評価		定量評価【KPI】	
C		○		◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上	
		◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない		△	

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細 節		1 事業者への経営支援を行う							
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し		産業創造助成金交付による事業支援件数（単年）					担当部課		
							産業部商工課		
指標の考え方		地域間競争力を向上させるため、事業者の新たな事業展開を支援・促進し、新規販路開拓や新商品開発等の事業活動を目的とした助成金を交付する。							
目標値の考え方		○基準値：令和5年度 13件 R6目標値を令和5年度実績の13件とし、令和7年度からナノテラスを活用した研究開発が見込まれるためR7目標値を15件に設定した。							
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P78	
目標（件）		－	8	8	13	15			
実績（件）		7	5	13	13	－	R6達成度	a	
達成率		－	62.5%	162.5%	100.0%	－			
細 節		2 就業環境の充実を図る							
重要業績評価指標（KPI）		勤労者福祉サービスセンターにおける共済給付・行事参加延べ人数（単年）					担当部課		
							産業部商工課		
指標の考え方		中小企業に勤める方の就業環境を向上させるため、総合的な福祉事業をサポートする勤労者福祉サービスセンターの会員を対象に、自己啓発事業や健診事業等の福利厚生事業を実施する。							
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 5,123人 過去の実績を考慮したうえで、一人当たり3回程度の参加を想定し設定した。							
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標（人）		－	7,750	7,750	7,750	7,750			
実績（人）		5,123	7,160	6,223	7,691	－	R6達成度	b	
達成率		－	92.3%	80.2%	99.2%	－			
細 節		3 地域ブランドを育成する							
重要業績評価指標（KPI）		6次産業化・地産地消推進助成金を通じたブランド育成件数（単年）					担当部課		
							産業部商工課		
指標の考え方		地域資源の高付加価値化を図るため、1次・2次・3次産業を営む事業者がネットワークを形成して取り組む新商品開発、販路開拓等のブランド育成に対する助成金を交付する。							
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 3件 6次産業化・地産地消推進助成金の交付件数を算出根拠としており、当該件数の目標値を10件と設定した為、その数値に準拠した形で目標値を10件と設定した。							
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標（件）		－	10	10	10	10			
実績（件）		3	8	1	3	－	R6達成度	d	
達成率		－	80.0%	10.0%	30.0%	－			

細節	4 中心市街地活性化を推進する						
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し	石ノ森萬画館・元気いちば利用者数（単年）					担当部課	
						産業部商工課	
指標の考え方	中心市街地の活性化を図るため、主要な施設である萬画館・元気いちばの利用者数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和5年度 1,576,973人 周辺地域の整備状況や社会情勢を加味し、意欲的数値である年間1%程度の増加を目指す。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（人）	1,419,758	1,436,373	1,452,988	1,469,603	1,602,000		
実績（人）	1,233,639	1,481,234	1,576,973	1,616,126	－	R6達成度	a
達成率	86.8%	103.1%	108.5%	109.9%	－		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	4 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
節	2 持続可能な漁業・水産加工業の振興			
数値目標（KGI）	水産振興策が充実していると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 水産業の振興（①＋②） ①[満足・どちらかといえば満足] 50.2% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 16.9%			
設定値（％）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7（最終目標値）
	50.2	⇒	52.5	⇒ 67.1

■節の達成状況

主な担当課		産業部水産課			
関係課					
令和6年度の主な取組や成果					
漁場の環境保全については、地元の漁業者団体による海洋ごみの回収・処理の取組を支援し、漁場や沿岸部の環境保全を図った。また、磯焼け対策として市内沿岸部の一部と田代島、網地島の周辺においてウニ駆除等による藻場の保全活動や万石浦における干潟の保全活動を支援し、生態系保全を図った。 水産業の担い手確保については、新規就業者数増加の試みとして、受入先の確保や、求人からマッチングを実施することで新規に漁業7名、水産加工業5名の計12名の就業につながった。また、漁師学校という企画で実際の漁業作業を体験できる研修を開催した結果、14名が参加し、今後の就業に結びつくことが期待される。 石巻産水産物の生産・輸出体制の強化については、アメリカ向け輸出の体制構築として、令和6年7月にLAの日系スーパーMitsuwaにて石巻フェアを開催し、石巻産食品のPRや現地の消費動向調査を実施し、消費者が求める商品の傾向を把握するとともに、9月には現地の輸入卸売会社IMPを訪問し、販売会議に出席することで石巻産水産物のアピールに対するフィードバックを得ることができた。 漁港の施設機能の維持については、鮫ノ浦地区の漁船係留時に支障となっていた泊地内土砂を浚渫し泊地の機能確保向上を図り、牧ノ浜地区の防波堤施設の補修工及び防食工等の機能保全工事を行ったことで、漁港施設の機能保全が図られ、就労環境の改善及び生産性や作業効率を高められた。					
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性			
①	海洋ごみによる漁場被害や漁港・海岸へのごみの漂着が発生しているほか、磯焼けが進んでいるなど、海洋環境が変化してきており、漁場にも影響が及んでいる。	市内の水産関係団体への啓発活動を実施し、海洋ごみの回収・処理を行う団体等の増加に努めた。今後も漁業者等による主体的な水域環境保全事業への参加を促していく。			
②	水産業就業者が年々減少しており、将来の水産業を担う人材の確保が必要である。	委託業者を通じ、漁業体験ができる機会を増やすなど、水産業の就業希望者増加に努めた。今後は、水産業の魅力発信に注力し、水産業就業者の確保を図る。			
③	限られた予算の中で、計画的な保全工事を実施するため、各施設における優先順位に見極めながら実施する必要がある。	漁港の施設機能を維持するため、施設の重要度等を鑑み、優先順位のもと、計画的・効率的な事業展開を行う。			
内部評価		定性評価		定量評価【KPI】	
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない		△	◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節		1 漁場環境の保全を推進する						
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し		海洋の環境や生態系の保全に取り組む団体数（単年）					担当部課	
							産業部水産課	
指標の考え方		漁場や海洋環境を保全するため、食害生物や外来生物等の駆除、漂流・漂着ごみの回収処理等の海洋保全活動に取り組む団体を増やす。						
目標値の考え方		○基準値：令和5年度 11団体 令和5年度に取組を行った延べ団体数を維持する。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（団体）		3	8	8	11	11		
実績（団体）		8	9	11	11	－	R6達成度	a
達成率		266.6%	112.5%	137.5%	100.0%	－		
細節		2 操業体制の充実を図る						
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し		新規水産業就業者数（単年）					担当部課	
							産業部水産課	
指標の考え方		水産業就業者の減少が続いているため、移住者や若者を積極的に受け入れ、サポート体制の充実等により新規水産業就業者を増やす。						
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 13人 令和3年度から令和5年度までの平均値が12人であるため、毎年度13人を目指す。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P78
目標（人）		10	10	10	13	13		
実績（人）		13	12	12	12	－	R6達成度	b
達成率		130.0%	120.0%	120.0%	92.3%	－		
細節		3 新たな生産体制・原料確保を促進する						
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し		石巻漁港水揚げ数（単年）					担当部課	
							産業部水産課	
指標の考え方		水揚げ量の確保に向けて国内各地の漁船を誘致するため、訪問や誘致品の宅配等の誘致活動を行い、石巻漁港への水揚げ数を維持する。						
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 42,839隻 全国的に取り組んでいる漁船漁業の生産性向上により、漁船隻数の減少が進んでいるが、漁船誘致により、水揚げ数の現状の水準を維持する。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（隻）		－	42,000	42,000	44,000	44,000		
実績（隻）		42,839	43,583	44,653	42,673	－	R6達成度	b
達成率		－	103.7%	106.3%	96.9%	－		

細 節		4 水産物の流通体制の強化を図る						
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し		水産物輸出額（単年）					担当部課	
							産業部水産課	
指標の考え方		水産物の消費拡大や販路開拓のため、海外輸出に向けて本市水産物の安全性を発信し、輸出額を増やす。						
目標値の考え方		○基準値：令和4年度 788,320千円 令和3年度から令和5年度実績の平均値が794,274千円であるため、毎年度8億円以上の輸出を目指す。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（千円）		-	590,000	600,000	800,000	800,000		
実績（千円）		580,400	788,320	1,014,102	1,110,493	-	R6達成度	a
達成率		-	133.6%	169.0%	138.8%	-		
細 節		5 石巻産水産物のブランド化を推進する						
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し		ブランド認証シール活用事業所数（単年）					担当部課	
							産業部水産課	
指標の考え方		現在ブランドとして認知されている金華さば、金華かつおについて、ブランド力の維持及び確保に向けて、認証シールを活用する事業者数を増やす。						
目標値の考え方		○基準値：令和5年度 22者 令和5年度の実績を基準に毎年度1者の増加を目指す。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（者）		11	12	13	23	24		
実績（者）		10	22	22	22	-	R6達成度	b
達成率		90.9%	183.3%	169.2%	95.6%	-		
細 節		6 水産基盤の充実を図る						
重要業績評価指標（KPI）		漁港施設機能保全事業対策工事実施箇所数（累積）					担当部課	
							産業部水産課	
指標の考え方		漁港施設の機能を保全するため、老朽化した施設や更新が必要な施設の保全工事を実施し、コストの縮減及び平準化を図る。						
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 3箇所 機能保全計画に基づき、市管理34漁港のうち健全度の低い27施設の対策工事を実施すべく、職員による対応可能箇所数並びに国庫補助金の採択を考慮し実施箇所数を平準化し目標値を設定した。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（箇所） 単年 累積		2 2	7 9	6 15	6 21	6 27		
実績（箇所） 単年 累積		3 3	2 5	2 7	3 10	- -	R6達成度	d
達成率		150.0%	28.5%	33.3%	50.0%	-		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	4 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち
節	3 魅力的な農林畜産業の振興
数値目標（KGI）	農林畜産振興策が充実していると感じる市民の割合
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 農林業の振興（①＋②） ①[満足・どちらかといえば満足] 48.2% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 17.6%
設定値（%）	R3（基準値）⇒ R5（中間値）⇒ R7（最終目標値） 48.2 ⇒ 45.8 ⇒ 65.8

■節の達成状況

主な担当課	産業部農林課		
関係課	産業部ニホンジカ対策室		
令和6年度の主な取組や成果			
持続可能な農業生産体制を整備するため、農業従事者の確保対策として石巻市農業担い手センターを活用した、就農相談、農業研修、宿泊場所・就農先の斡旋、就農後のアフターケアまで一貫した伴走型就農支援を行っている。また、実際の農業を肌で感じる体験型の農業イベントを実施するとともに、遠隔地の就農希望者にオンラインにて対面個別相談を実施することで、農業の大変さや楽しさ、充実感を実感していただき、就農に対する不安感の払しょくや興味関心を得ることに繋がった。その結果、3名の新たな新規就農者を確保することができた。 豊かで身近な森林を再生するため、森林環境整備として森林施業が行われずに荒廃した私有林人工林の環境改善に向け、市町村が仲介役となり森林所有者と民間事業者をつなげ適切な森林施業を実施する「森林経営管理制度」を活用し、本市への森林施業の委託について意向調査を行った結果、森林施業の委託を希望する山林のうち45.38haの間伐を行い、森林環境の改善を図ることができた。			
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	年度内の新規就農者数は目標値に到達しなかった。また、離農者が生じないよう、新規就農者の定着が課題となっている。	新規就農に関する広報に力を入れるとともに、就農初期の住居等の問題の解消をはじめ、伴走型の支援を継続し孤立を防ぎ、定着に向けた取組に努めていく。	
②	間伐面積の拡大に向け、意向調査面積を拡大したが、業務期間の延伸が生じ、年度内に目標値までの間伐ができなかった。	受注者へ業務担当者の増員を要請するとともに、年度内の完成可能な業務量を精査し、効率的に業務を推進し、目標達成に努めます。	
③	農畜産物ブランドPR事業に関して相談はあったものの、申請には至らなかった。	市外で開催されるイベントでのPR活動を通じた知名度向上および販路開拓を目指し、事業の周知・活用を推進し、目標達成に努めます。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△ ◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細 節		1 豊かな農村環境の再生と農業基盤整備を推進する							
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し		ほ場整備率（新規採択地区）（累積）					担当部課		
							産業部農林課		
指標の考え方		農地の汎用化により効率的で収益性の高い農業を行うため、ほ場の大区画化や水利条件等の整備を推進する。（福地地区、大森地区、深谷東地区、深谷西地区 計4地区 522.7ha）							
目標値の考え方		令和4年度までに福地地区、大森地区、深谷東地区、深谷西地区が採択され、今後整備される汎用化水田の面積は、522.7haを予定しており、国、県との調整を図りつつ、令和7年度までに200haの汎用化水田を整備することとしている。目標値は、522.7haに対して、汎用化水田完了面積の比率としている。							
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標（％）		－	9.07	22.49	30.61	38.26			
実績（％）		0	1.30	11.67	29.82	－	R6達成度	b	
達成率		－	14.3%	51.8%	97.4%	－			
細 節		2 持続可能な農業生産体制を整備する							
重要業績評価指標（KPI）		認定農業者数（累積）					担当部課		
							産業部農林課		
指標の考え方		効率的で安定した農業経営に向けて、農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者や農業法人を認定し支援を行う制度である「認定農業者」が減少傾向にあることから、減少を抑え維持を目指す。							
目標値の考え方		○基準値：令和元年度 593件 農業者が減少しているため、認定農業者も減少傾向にあるが、減少幅を抑え、現状を維持する。							
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標（件）		572	567	562	557	555			
実績（件）		574	558	551	550	－	R6達成度	b	
達成率		100.3%	98.4%	98.0%	98.7%	－			
細 節		3 豊かで身近な森林を再生する							
重要業績評価指標（KPI）		森林経営管理制度による間伐面積（累積）					担当部課		
							産業部農林課		
指標の考え方		森林施策が行われずに荒廃した私有林人工林の間伐を推進し、水源の涵養、国土の保全、地球温暖化の防止等の森林が持つ多面的な機能の向上を図るとともに、野生動物の隠れ場となっていた荒廃森林を見通しの良い森林に改善し、農地と野生動物の生息場所の緩衝地帯として回復させ、農作物被害の抑制を目指す。							
目標値の考え方		令和3年度計画策定、令和4年度間伐開始。毎年度約58haずつ間伐を実施する。							
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標（ha）	単年	－	58	58	57	57			
	累積	－	58	116	173	230			
実績（ha）	単年	0	13.09	17.63	45.38	－	R6達成度	c	
	累積	0	13.09	30.72	76.10	－			
達成率		－	22.5%	30.3%	79.6%	－			

細 節		4 石巻産農畜産物のブランド化を推進する						
重要業績評価指標（KPI）	農畜産物ブランドPR事業への補助件数（単年）						担当部課	
							産業部農林課	
指標の考え方		本市農畜産物の消費拡大に向けてブランドの知名度を上げるため、市内の生産者が市外のイベント等に出展する経費の一部補助を行うことで市内農畜産物の知名度向上・ブランド化を図る。						
目標値の考え方		○基準値：令和元年度 1件 各種イベントで年2回程度の活動を目指す。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（件）		－	2	2	2	2		
実績（件）		1	1	0	0	－	R6達成度	d
達成率		－	50.0%	0.0%	0.0%	－		
細 節		5 安全で高品質な農畜産物の安定供給体制を構築する						
重要業績評価指標（KPI）	農畜産物の安全性情報発信件数（単年）						担当部課	
							産業部農林課	
指標の考え方		安心して本市農畜産物を消費してもらうため、安全性を定期的に発信する。						
目標値の考え方		放射性物質の検出はほぼなくなっているが、年2回程度、ホームページ等で安全性を発信する。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（件）		2	2	2	2	2		
実績（件）		0	2	2	1	－	R6達成度	d
達成率		0.0%	100.0%	100.0%	50.0%	－		
細 節		6 持続可能な農業経営体を育成する						
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し	新規就農者数（単年）						担当部課	
							産業部農林課	
指標の考え方		農業従業者の高齢化や担い手不足が続いていることから、移住者や若者を積極的に受け入れ、サポート体制の充実等により新規就農者を増やす。						
目標値の考え方		○基準値：令和元年度～令和5年度までの新規就農者数の平均値 5人 近年の実績から毎年度5人程度の確保を目指す。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P78
目標（人）		2	2	2	5	5		
実績（人）		4	7	7	3	－	R6達成度	c
達成率		200.0%	350.0%	350.0%	60.0%	－		

細節	7 農作物の被害対策を推進する						
重要業績評価指標（KPI）	有害鳥獣（ニホンジカ）による被害額（単年）					担当部課	
						産業部ニホンジカ対策室	
指標の考え方	ニホンジカ生息頭数の増加や生息域の拡大に伴い農作物被害や自動車との衝突事故による被害が発生していることから、関係機関と連携して有害捕獲を進め、生息頭数の削減に努めるとともに、農作物被害軽減のための獣害防止柵を設置することにより、ニホンジカによる被害額の軽減を図る。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度被害額 48,759千円 石巻市鳥獣被害防止計画において、農作物等の被害額を4年間で2割減とする目標を設定していることから、同様に基準値比で年間5%被害額を軽減させる目標値を設定した。 ※令和5年度実績値：宮城県が公表する速報値（6月末公表）						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（千円）	－	46,000	44,000	41,000	39,000		
実績（千円）	48,759	41,101	34,844	集計中	37,817	R6達成度	a
達成率 ※	－	111.9%	126.2%	－	103.1%		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	4 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
節	4 地域資源を活かした観光事業の振興			
数値目標（KGI）	観光振興策が充実していると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 観光の振興（①＋②） ①[満足・どちらかといえば満足] 32.9% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 25.9%			
設定値（%）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7（最終目標値）
	32.9	⇒	59.9	⇒ 58.8

■節の達成状況

主な担当課	産業部観光政策課		
関係課			
令和6年度の主な取組や成果			
令和6年度の観光振興施策においては、日和山公園観桜期間の設定及び夜桜ライトアップや、市内4箇所の海水浴場の開設、市内各地のお祭りやイベント等、コロナ禍前の従来通りの規模で開催することができた。また、食彩・感動いしのまき観光推進協議会等と連携し、観光PRや地産地消の推進を図る中、仙台市内の飲食店で「石巻フェア」を実施し、石巻産食材を使用したオリジナルメニューを提供し好評を得た。10月には石巻圏観光推進機構が事務局となり「石巻圏農泊・食文化推進コンソーシアム」を設立し、各種団体が連携し地域の魅力を発信する基盤を構築することができた。宿泊観光客数については、コロナ禍自粛の反動による一過性の旅行需要が一旦落ち着いたことも踏まえ、目標値を達成することは出来なかったが、前年度より実績人数を増やすことができた。 観光政策課SNSフォロワー数については、Instagramを活用したフォト&リール動画コンテストを開催したことにより、フォロワーが約900名増加し、日々の投稿への反響も全体的に向上する結果となった。			
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	宿泊観光客増加に向けた滞在型・周遊型観光の推進が課題となっている。	首都圏等で開催されたイベントに参加し石巻市の観光PRに努めた。今後も観光コンテンツのブラッシュアップを図り、滞在時間の延伸と観光消費額の増加に向けた取組を進める。	
②	地域資源の活用促進が課題となっている。	県内外で開催されたイベント及び市主催フェア等において石巻の魅力をPRしている。引き続き、みちのくGOLD浪漫や潮風トレイル等との連携事業や石巻ならではの観光体験や特産品の掘り起こしに取り組んでいく。	
③	S N Sを通じた効果的なP Rが課題となっている。	Instagramを活用したイベントを開催することで効果的なPRができた。今後もスピーディーかつ魅力的な情報発信を展開し、幅広い年齢層へアプローチしていく。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	○	◎ ◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	◎ ◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節	1 地域資源を活用した観光誘客を推進する						
重要業績評価指標（KPI）	宿泊観光客数（単年）					担当部課	
						産業部観光政策課	
指標の考え方	本市は宿泊施設が少なく通過型観光が中心であるが、宿泊観光客は、各観光施設や各種イベントの入込にも波及するものであることから、宿泊者数の増加を図る。						
目標値の考え方	○基準値：平成31年1月～令和元年12月 246,599人 平成30年から令和元年の増加人数が2,404人だったことから、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、半分である1,200人の増加を目指す。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（人）	247,800	247,800	247,800	247,800	247,800		
実績（人）	149,412	181,999	238,573	240,818	－	R6達成度	b
達成率	60.2%	73.4%	96.2%	97.1%	－		
細節	2 観光振興体制を構築する						
重要業績評価指標（KPI）	観光政策課SNSフォロワー数（累積）					担当部課	
						産業部観光政策課	
指標の考え方	観光誘客につなげるため、あらゆる情報媒体を活用して本市の魅力を発信し、SNSのフォロワー数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 インスタグラム 1,496件、フェイスブック 3,394件 令和4年度以降は、前年比およそ1割の増加を目指す。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（件） Instagram Facebook	1,200 3,500	1,650 3,700	1,800 4,000	2,000 4,400	2,200 4,800		
実績（件） Instagram Facebook	1,496 3,394	1,861 4,426	2,071 4,560	3,527 4,684	－	R6達成度	a
達成率	－	116.1%	114.5%	141.3%	－		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	4 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
節	5 企業誘致の推進と新たな産業の創出			
数値目標（KGI）	新たな雇用が創出されていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 企業誘致や新たな産業創出（①＋②） ①[満足・どちらかといえば満足] 28.6% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 27.8%			
設定値（％）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7（最終目標値）
	28.6	⇒	31.0	⇒ 56.4

■節の達成状況

主な担当課	産業部産業推進課		
関係課			
令和6年度の主な取組や成果			
企業立地については、製造業を中心に6件の立地があり、合計74人の雇用創出効果があったが、昨今の原材料・資材費高騰による建設コストの高止まり、借入金利の上昇や資金調達の難化、人材確保に関する不安などの影響もあり、目標であった10件の立地には至らなかった。 創業支援については、創業に係るスキルを学ぶことができる創業開成塾や、各種相談会・セミナー等を実施するとともに、本市独自の創業支援補助制度により創業希望者への経費支援を行うなど、創業予定者や実際に創業した方を支援し、創業へとつなげることができた。 地域資源の利活用については、石巻専修大学の梅山教授による「若者世代と一緒に未来の街を考える」、東北大学の村松名誉教授と原田教授による「次世代放射光施設ナノテラスの利活用」と題したセミナーを実施し、地域資源における活用機運の醸成を図るとともに新たな技術開発や活動内容の情報共有を行った。			
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	企業訪問件数は目標を達成できたが、上記の設備投資控えの影響もあり、企業立地件数については目標件数に届かなかった。	積極的な企業訪問は継続しつつ、企業動向や社会情勢を鑑み、よりターゲットを絞った誘致の手法なども検討し誘致効果の高い取組を推進していく。	
②	創業件数は目標値を上回っているが、引き続き創業希望者の支援が必要。	創業開成塾受講後、創業にあたってのフォローアップを宮城県よろず支援拠点等の支援事業者と連携して行うことで、創業へとつなげていく。	
③	市内企業への地域資源の利活用促進を図るため、セミナーの継続的な開催が必要となっている。	石巻地域産学官グループ交流会にて、引き続きセミナー等を開催していく。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△ ◎：「a または b」のみで a が半数以上 ○：「a または b」のみで a が半数未満 △：「c または d」があり d が半数未満 ×：d が半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細 節		1 新規及び既存企業への立地などに伴う支援を推進する						
重要業績評価指標（KPI）	立地企業件数（単年）						担当部課	
							産業部産業推進課	
指標の考え方		企業誘致は新たな雇用創出や定住人口の増加につながるほか、市税収入等の増加にも効果があることから、企業立地意向調査や企業訪問等に取り組み、市内に新たに立地する企業数を増やす。						
目標値の考え方		○基準値：令和元年度 5件 過去5年間の企業立地実績をベースに、今後の用地分譲件数を考慮して設定した。 ※過去5年の平均立地件数/年＋今後平均分譲数/年×（100－指定企業者率34％）						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P82	
目標（件）	10	10	10	10	10			
実績（件）	10	9	8	6	－	R6達成度	C	
達成率	100.0%	90.0%	80.0%	60.0%	－			
細 節		2 新規創業や第二創業を促進する						
重要業績評価指標（KPI）	新規創業・第二創業件数（単年）						担当部課	
							産業部産業推進課	
指標の考え方		助成制度や相談支援体制を充実させ、新規創業や第二創業件数（中小企業等が、新しい経営者を就任させ、新しい分野に進出すること）を増やす。						
目標値の考え方		○基準値：令和元年度 4件 創業支援等事業計画に基づき創業者数を設定した。 （創業者数＝推定年間創業件数100件×潜在的創業希望者割合6.8倍×創業希望割合47％×支援目標10％×創業率10％）等の合算						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標（件）	9	9	9	9	9			
実績（件）	9	14	9	11	－	R6達成度	a	
達成率	100.0%	155.5%	100.0%	122.2%	－			
細 節		3 地域資源を活かした産業を強化する						
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し	地域資源利活用セミナー参加者数（単年）						担当部課	
							産業部産業推進課	
指標の考え方		CNFなど、今後用途・事業展開が見込まれ地域資源の利活用を促進するため、セミナーの開催や情報提供を行うほか、新技術の導入、新規事業への進出等、経営基盤の強化や新たな事業展開を行う事業者への支援を行うことで、地域の雇用創出や産業の活性化に努める。						
目標値の考え方		○基準値：令和4年度・令和5年度 平均値 72人 令和4年度・令和5年度に開催したセミナーでの参加事業者数の平均値を基準とし、令和6年度以降は年2回開催、各35人として設定した。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標（人）	20	20	20	70	70			
実績（人）	0	83	60	71	－	R6達成度	a	
達成率	0.0%	415.0%	300.0%	101.4%	－			

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	4 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち			
節	6 未来の産業を担う人材の確保と育成			
数値目標（KGI）	未来の産業を担う人材の確保と育成に関する取組が充実していると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 販路拡大や人材確保など地元企業の育成（①＋②） ①[満足・どちらかといえば満足] 30.0% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 26.7%			
設定値（%）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7（最終目標値）
	30.0	⇒	34.6	⇒ 56.7

■節の達成状況

主な担当課	産業部産業推進課		
関係課	産業部商工課		
令和6年度の主な取組や成果			
人材の確保について、高校3年生を対象とした合同企業説明会及び企業面接会に202名の就職希望生徒が参加があったほか、就職を希望する桜坂高校の3年生を対象とした企業見学ツアーに6名の参加があった。また、一般求職者向けの合同企業説明会を3回、60歳以上を対象とした高齢者向けの合同企業説明会を1回開催し、計182名の参加があり、うち10名が採用につながった。 人材育成支援について、若手経営者を対象に、経営に必要なスキル、課題解決等を年間を通して学ぶ「中小企業セミナー（経営革新塾）」を開催した。2か年計画の2年目にあたる令和6年度は、事業計画策定やDX活用、補助金活用など、事業者にとってより実践的な内容のセミナーとなり、参加者の満足度も高かった。			
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 高校生の生徒数の減少や進学率の増加に伴い、高校生の参加者は減少傾向にある。		一般求職者向け及び高齢者向けの合同企業説明会の開催回数を増やすことで目標を達成した。	
② 中小企業セミナー参加者が目標値に達しておらず、セミナー内容の精査、周知が課題。		参加者アンケートを分析し、意向に沿ったセミナーの開催時間帯や内容を検討することで、参加者の増加を図る。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	○	◎	◎：「a または b」のみで a が半数以上 ○：「a または b」のみで a が半数未満 △：「c または d」があり d が半数未満 ×：d が半数以上
◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない			

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細 節	1 関係機関との連携により人材を確保する							
重要業績評価指標（KPI）	合同企業説明会への求職者の参加人数（単年）					担当部課		
						産業部商工課		
指標の考え方	産業人材を確保及び育成するため、関係機関との連携により合同企業説明会の参加人数を増やす。							
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 一般向け 16人、高校生向け 413人（2回） 令和4年度からは高校生の合同企業説明会参加者を含めて設定した。 一般求職者向け 100人（年2回×1回あたり50人） 高校生向け 250人（年1回）							
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P82	
目標（人）	200	350	350	350	350			
実績（人）	429	77	526	390	－	R6達成度	a	
達成率	214.5%	22.0%	150.2%	111.4%	－			
細 節	2 人材の育成支援を行う							
重要業績評価指標（KPI）	中小企業セミナー参加者数（単年）					担当部課		
						産業部産業推進課		
指標の考え方	中小企業の課題解決に向けて、ワークショップ形式や討論形式による対話型のセミナーを開催し、参加者数を維持する。							
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 16人 過去の実績を踏まえ、ワークショップ等を実施するのに適切な人数規模で設定した。							
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標（人）	15	15	15	15	15			
実績（人）	15	12	12	12	－	R6達成度	b	
達成率	100.0%	80.0%	80.0%	80.0%	－			

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	5 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち			
節	1 安全に安心して学ぶための教育環境整備の推進			
数値目標（KGI）	安全安心な教育環境が整備されていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 学校設備や教材等の学習環境の質の向上（①＋②） ①[満足・どちらかといえば満足] 50.3% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 17.2%			
設定値（%）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7（最終目標値）
	50.3	⇒	51.8	⇒ 67.5

■節の達成状況

主な担当課	教育委員会学校管理課		
関係課			
令和6年度の主な取組や成果			
充実した教育を行うための環境整備のため、文部科学省が策定した教材整備指針を参考に「石巻市立小・中学校教材整備方針」を定め、令和2年度からの10年間で、各小中学校で設定した整備目標に対して充足率を100%に近づけるよう教材の整備を図っている。令和6年度においても、学校現場との協議のもと、教材整備を推進した結果、教材の購入にあたっては、入札等により予算を有効活用することで整備数を伸ばし、目標値を上回ることができた。 安全安心な学校施設整備の推進のため、校舎等の整備について令和6年度は、老朽化の著しい須江小学校の屋内運動場及びプール改築工事が完了したほか、青葉中学校校舎の大規模改造工事が完了した。また、今後も長く将来にわたって学校施設を使用していくため、老朽化した建物の長寿命化を図ることを目的として、新たに蛇田中学校校舎の長寿命化改修工事に着手した。			
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 教材については、着実に整備が進んでいるものの、中学校における充足率がいまだ低い状況となっている。		限られた予算の中での対応となることから、予算の有効活用を図る。	
② 学校の統合等を見据え、限られた予算を最大限有効に活用し、必要な施設整備を実施していく必要がある。		令和7年度4月に3小学校（桃生小、中津山第一小、中津山第二小）が統合した新生桃生小学校の児童が充実した学校生活が送れるよう、校舎の屋根改修やスクールバス用の駐車場整備など、必要な施設整備を実施することができた。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	○	◎	◎：「a または b」のみで a が半数以上 ○：「a または b」のみで a が半数未満 △：「c または d」があり d が半数未満 ×：d が半数以上
		◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細 節	1 充実した教育を行うための環境を整備する						
重要業績評価指標（KPI）	学校教材整備目標に対する備品の充足率（累積）					担当部課	
						教育委員会学校管理課	
指標の考え方	良好で質の高い教育環境のため、教育内容や指導方法に対応した教材の購入や、老朽化した教材の計画的な更新を進める。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 47.4% 文部科学省の教材整備方針に基づき策定した石巻市小・中学校教材整備方針における考え方を基本とし、現状を踏まえた充足率を設定した。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（％）	60.00	63.70	67.40	71.00	74.60		
実績（％）	57.50	66.95	69.75	74.60	－	R6達成度	a
達成率	95.8%	105.1%	103.4%	105.0%	－		
細 節	2 安全安心な学校施設整備を推進する						
重要業績評価指標（KPI）	校舎等整備事業完了件数（累積）					担当部課	
						教育委員会学校管理課	
指標の考え方	児童・生徒が充実した学校生活をおくるためには、学習・生活の場である学校が安全・安心である必要があることから、学校施設を計画的に整備・更新する。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 3件 石巻市学校施設整備保全計画に基づき、将来的な学校施設の統合を踏まえ、整備完了件数を概ね年3件と目標値を設定した。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（件）	3	3	6	9	9		
実績（件）	3	3	6	9	－	R6達成度	a
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	－		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	5 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち			
節	2 社会を生き抜く力を育てる学校教育の充実			
数値目標（KGI）	学校教育が充実していると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 国際理解や情報・環境教育など現代社会に対応した教育の推進（①＋②） ①[満足・どちらかといえば満足] 43.8% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 20.6%			
設定値（%）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7（最終目標値）
	43.8	⇒	56.2	⇒ 64.4

■節の達成状況

主な担当課	教育委員会学校教育課		
関係課	教育委員会教育総務課		
令和6年度の主な取組や成果			
学校教育の充実を図るため、「学校わくわくプラン事業」において、マルチレベルアプローチ理論を取り入れ、児童生徒のやる気や自信を育む取組を行ってきた。12月に実施したわくわくフェスティバルではプロダンサーを講師に招いてダンス教室を開催し、小学生49名が参加した。また、市の公共施設を活用した校外学習モデルの計画実行や、全小学校を対象にタブドリ祭り2024を開催し、タブレット端末を活用した学びの促進を図るなど、様々な事業に取り組んだ結果、学校が楽しいと感じている児童生徒の割合について、高水準を維持することができた。 外国語教育の推進について、ALTが積極的に授業のアイディアを提供することで創意工夫ある魅力的な授業が実施できたほか、ALTと日本人教師が連携しながら授業を行うことで、児童生徒のコミュニケーション能力の向上に資することができ、ALTとの授業が楽しいと感じている児童生徒の割合について目標値を達成することができた。 奨学金貸与事業における採用人数については、前年度と同水準となっている。制度利用者へのアンケート調査の結果では、自治体が実施する奨学金制度自体を知らなかったという声もあったことから、より効果的な制度普及方法を検討していく。 就学に係る支援強化のため、経済的な理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対し就学に必要な経費の一部を支給する就学援助制度について、制度利用希望者に対し、漏れなく適切な支援を実施することができた。			
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 多くの児童生徒にやる気や自信を与える取組を充実させる。		わくわくフェスティバルへの参加促進に向け、学校訪問型の出張ダンス教室を実施した。	
② ALTの授業力を向上させる。		年間2回ALTの授業観察を行い、指導助言を行った。	
③ 奨学金制度の利用者が減少している。		真に制度を必要とする方へ情報が行き届くよう、適切な制度周知に努めていく。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	○	◎	◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上
◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない			

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細 節		1 学校教育の充実を図る						
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し		学校が楽しいと感じている児童生徒の割合（単年）					担当部課	
							教育委員会学校教育課	
指標の考え方		児童生徒の主體的に生きる力を育成するため、児童生徒の意欲を高めることが重要であることから、学校が楽しいと感じている児童生徒の割合を高める。						
目標値の考え方		○基準値：令和5年度 92.2% 高い数値で推移しているが、引き続き高水準を維持する。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P86
目標（％）		80.0	82.0	84.0	93.0	94.0		
実績（％）		91.7	91.0	92.2	92.4	－	R6達成度	b
達成率		114.6%	110.9%	109.7%	99.3%	－		
細 節		2 外国語教育を推進する						
重要業績評価指標（KPI）		ALTとの授業が楽しい児童生徒の割合（小・中学校）（単年）					担当部課	
							教育委員会学校教育課	
指標の考え方		国際化が進展する現代において、異文化を受容し共生する能力を育成するため、外国語を身近に感じ、ALTとの授業が楽しいと感じている児童生徒の割合を高める。						
目標値の考え方		○基準値：平成29年度～令和3年度の平均 87.62% 令和3年度以前より高い数値で推移しているが、現状と同程度の水準を維持する。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（％）		－	90.0	90.0	90.0	90.0		
実績（％）		90.9	90.5	93.0	93.0	－	R6達成度	a
達成率		－	100.5%	103.3%	103.3%	－		
細 節		3 有能な人材を育成支援する						
重要業績評価指標（KPI）		奨学金貸与者のうち、進級又は修了（卒業）した者の割合（単年）					担当部課	
							教育委員会学校教育課	
指標の考え方		未来を担う学生が経済的理由等により就学を諦めることがないよう、奨学金の貸与を実施する。						
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 97.8% 奨学金貸与者全員が無事に進級又は終了（卒業）することを目標とする。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（％）		－	100	100	100	100		
実績（％）		97.8	93.5	100	100	－	R6達成度	a
達成率		－	93.5%	100.0%	100.0%	－		

細節	4 就学に係る支援を強化する						
重要業績評価指標（KPI）	就学援助を要する児童生徒の保護者への補助実施率（単年）					担当部課	
						教育委員会教育総務課	
指標の考え方	経済的理由等により就学困難な児童生徒が必要な支援を受けられるよう、学用品費や通学用品等をはじめとして就学に係る費用の助成を行う。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 100% 申請者のうち、経済的理由等により就学困難と認められる児童生徒の保護者が漏れなく適切な支援を受けることを目標とする。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	a
目標（%）	－	100	100	100	100		
実績（%）	100	100	100	100	－	R6達成度	
達成率	－	100.0%	100.0%	100.0%	－		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	5 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち			
節	3 いのちを守る防災教育の推進			
数値目標（KGI）	防災教育が推進されていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 防災知識の普及や防災教育の充実などの地域防災力の向上（①+②） ①[満足・どちらかといえば満足] 50.1% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 19.6%			
設定値（%）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7（最終目標値）
	50.1	⇒	65.4	⇒ 69.7

■節の達成状況

主な担当課	教育委員会学校安全推進課		
関係課	教育委員会学校教育課		
令和6年度の主な取組や成果			
心のケアや相談体制の充実のため、市内全ての小・中学校にスクールカウンセラーを配置し、震災の影響も含めた心のケアが必要な児童生徒に対する相談業務を実施し、問題の解決・好転を図ることができた。 防災教育の充実について、防災担当教職員の災害対応力の向上を目的とした「防災主任研修会」を実施し、大学教授等アドバイザーとして指導助言をいただき、地形図やハザードマップを用いた災害リスクに関する講義・演習や、学校安全マニュアルの点検結果の報告、大雨洪水・地震・原子力災害を想定した避難訓練実践モデル校の実践発表、セーフティプロモーションスクール（※）を含めた各種実践モデル校の成果発表等を行うことで、防災教育に対する共通理解を深めることができた。また、令和5年度に引き続き、石巻市総合防災訓練の日を登校日とし、地域と連携した避難訓練を実施することで、児童生徒及び教職員の防災意識の向上が図られた。 ※ セーフティプロモーションスクール（SPS）：学校独自の学校安全の推進を目的とした目標・計画を設定し、それを達成するための組織整備や実践等を行い、それらの結果を分析し客観的な根拠に基づいた評価を共有し、継続して学校安全の推進を図っていく学校のこと			
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 震災を経験していない児童生徒や教職員が増える中、如何にして震災の教訓を伝え生かすか。		総合防災訓練の日を登校日とし、地域と連携した避難訓練を実施し、東日本大震災に関することも含めた防災学習の時間として活動することで、防災意識の向上が図られた。今後は震災伝承の重要性についても各校へ周知徹底を図っていく。	
② スクールカウンセラー活用は十分なされているものの、多様化・複雑化する学校現場における課題に対応するため、校内における相談体制をさらに充実させていく必要がある。		全市立小・中学校でスクールカウンセラーによる研修・助言による指導を受けることができた。研修会を充実したものとするため、スクールカウンセラーによる教職員研修会の好事例を校長会議や教頭会議で紹介する等、必要性について周知徹底を図っていく。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	○	◎	◎：「a または b」のみで a が半数以上 ○：「a または b」のみで a が半数未満 △：「c または d」があり d が半数未満 ×：d が半数以上
◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない			

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細 節		1 心のケアや相談体制の充実を図る						
重要業績評価指標（KPI） ★R6.11 指標見直し		支援対象児童生徒の解決・好転件数の割合（単年）					担当部課	
							教育委員会学校教育課	
指標の考え方		スクールソーシャルワーカー（教育機関において社会福祉に関する専門的な知識や技術を有する者）が関わり、支援対象の児童生徒の抱える問題の解決・好転を目指す。						
目標値の考え方		○基準値：令和2年度 解決・好転件数の割合 45.3% スクールソーシャルワーカーが児童生徒の環境や支援のためのネットワーク構築を推進し、問題の解決・好転を図る。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P87
目標（％）		－	－	－	70.0	70.0		
実績（％）		－	－	52.5	60.5	－	R6達成度	b
達成率		－	－	－	86.4%	－		
細 節		2 防災教育の充実を図る						
重要業績評価指標（KPI）		防災教育研修回数（単年）					担当部課	
							教育委員会学校安全推進課	
指標の考え方		防災教育の指導力と学校の災害対応力を高めるため、教職員に対する防災教育研修会を実施し、開催回数を維持する。						
目標値の考え方		○基準値：令和2年度 4回 全学校の安全担当主幹教諭や防災主任を対象とした実践的な防災教育研修会を年4回維持する。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（回）		4	4	4	4	4		
実績（回）		4	4	4	4	－	R6達成度	a
達成率		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	－		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	5 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち			
節	4 地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の推進			
数値目標（KGI）	地域ぐるみでの教育活動が推進されていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 地域と連携した学習機会の提供（①＋②） ①[満足・どちらかといえば満足] 47.5% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 18.5%			
設定値（％）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7（最終目標値）
	47.5	⇒	56.2	⇒ 66.0

■節の達成状況

主な担当課	教育委員会生涯学習課		
関係課			
令和6年度の主な取組や成果			
「ふるさと子どもカレッジ事業」については、市内小学校高学年の生徒を対象に参加者を募集し、市内各地域の特色を活かした体験活動を取り入れた講座を開設することにより、子どもたちの豊かな心を育み、自らの故郷について知り、学ぶ機会を創出した。令和6年度の申込人数は16名であり、生き物観察と砂州クリーン活動、卸売市場見学、農業施設見学や収穫体験等の全7回の講座を開催し、参加者が満足できる講座を企画することができた。 「ジュニア・リーダー活動」については、令和6年度のジュニア・リーダーサークル会員数は34人であり、中学校を卒業した生徒が高校進学後もサークル活動を継続していることや、初級研修会への参加周知を強化してきた結果、会員数は増加傾向となっている。また、サークル間の交流活動を増やすことにより、互いに学び合う機会が増え、会員の活動意欲の向上に繋がっている。石巻地区青年文化祭における活動では、スタッフとともに来訪者や地域住民へ働きかけるなどジュニア・リーダーの積極的な姿が見られ、成長する機会を創出することができた。			
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	ふるさと子どもカレッジ事業について、募集定員30人に対し参加人数が満たない。	オンライン申請の活用等周知方法の改善を試みたが目標人数に届かず、対象児童にアンケートを実施した結果、事業認知度が4%と低いことが分かった。今後は広報活動を見直し、より充実した講座を企画し提供していく。	
②	ジュニア・リーダーが在籍して活動しているのは3地区であり、子ども会の縮小などにより活動機会も限定された。	ジュニア・リーダーの新たな活動の機会を開拓する。	
③	ジュニア・リーダー初級研修会の受講者数は増加したが、中級研修会の受講者数は少人数であった。	各中学校へジュニア・リーダー初級研修会の周知やジュニア・リーダーの活動内容の発信に努める。	
内部評価		定性評価	定量評価【KPI】
A	○	◎	◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上
		◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節	1 地域で支える教育活動を支援する							
重要業績評価指標（KPI）	ふるさと子どもカレッジ参加者満足度（単年）					担当部課		
						教育委員会生涯学習課		
指標の考え方	子どもたちが郷土の自然や文化を体験するため、地域や企業の協力のもと、年間7回を通して各地区の特色を生かした講座を開催し、参加者の満足度が高い内容を実施することで参加者数を増やす。							
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 83% 全参加者が満足できる事業内容を目指す。							
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	地方創生 P83	
目標（%）	100	100	100	100	100			
実績（%）	100	100	100	100	－	R6達成度	a	
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	－			
細節	2 青少年の健全な成長を支援する							
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し	ジュニア・リーダー活動人数（単年）					担当部課		
						教育委員会生涯学習課		
指標の考え方	子ども会活動等における体験活動の指導・支援を行う青年ボランティアであるジュニア・リーダーを育成し、活動数を増やすことにより、中高生であるジュニアリーダーと児童がお互いに成長する機会を増やす。							
目標値の考え方	○基準値：令和5年度 247人 令和5年度の実績を基準とし、毎年度約5%の増加を目指す。							
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標（人）	－	55	60	259	271			
実績（人）	49	138	247	317	－	R6達成度	a	
達成率	－	250.9%	411.6%	122.3%	－			

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	5 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち			
節	5 豊かな地域社会を育む生涯学習の推進			
数値目標（KGI）	生涯学習に親しむ取組が推進されていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 図書館、文化ホールなどの整備・充実（①＋②） ①[満足・どちらかといえば満足] 35.7% ②[どちらかといえば不満・満足]×1/2 25.6%			
設定値（％）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7（最終目標値）
	35.7	⇒	57.9	⇒ 61.3

■節の達成状況

主な担当課	教育委員会生涯学習課		
関係課	教育委員会図書館		
令和6年度の主な取組や成果			
生涯学習環境の充実を目的に実施している出前講座について、庁内外の協力のもとに講座メニューを更新することができた。石巻市公式LINEでの情報発信、各学校への送付など、出前講座に関する事業周知を強化するとともに、LoGoフォームを活用したオンライン申請を可能とし、実績増加へとつながった。 読書の推進・環境を整備するため、予約を中心とした貸出を行う出張図書館「へびた」「わたのは」に加え、出張図書館「ささえあいセンター」を開始し、21回の実施で40冊の貸出と1,765冊の図書を設置することができた。また、出張図書館用ノートパソコンがオンライン環境で使用可能となったことで、資料に関する質問等への即時対応が可能となり、サービスの質の向上につながった。定期的に分館との研修・連絡会議を行い、地域全体において均一かつ質の高いサービスの提供に努めたほか、10年以上利用実績のない利用者の登録を抹消し、適切なデータ管理の推進を図った。そのほか、児童コーナー、子どもの読書スペースにマットと木製書架を設置し、親子がくつろいで本を読む姿が見られるようになる等、創意工夫の結果、利用者の増加へと繋げることができた。			
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性	
① 出前講座の周知方法を充実させること。		従来の市ホームページ、市報への掲載に加え、市公式LINEでの情報発信を行った。 また、オンライン（LoGoフォーム）での申込を可能とした。	
② 図書館は生涯学習の入口としての役割を担っており、幼少期における豊かな読書体験の提供は、重要な課題の一つであったが、学校における読書環境の充実により、学校向け図書の貸出が減少傾向にある。		ポプラ社との包括連携協定に係るイベントとして、教科書にも掲載されている絵本作家の宮西達也氏を招いた講演会を開催した。約200人の親子連れに対して、本の面白さや読み聞かせの楽しさを共有することで、子どもの読書活動を推進することができた。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	◎	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細節	1 生涯学習環境を強化する						
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し	出前講座実施件数（単年）					担当部課	
						教育委員会生涯学習課	
指標の考え方	出前講座のメニューを充実させることにより、出前講座申込件数の増加を図り、生涯学習事業参加者数の増加へつなげる。						
目標値の考え方	○基準値：令和5年度 220件 令和5年度の実績を基準とし、毎年度約5%の増加を目指す。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（件）	－	105	110	231	242		
実績（件）	103	144	220	244	－	R6達成度	a
達成率	－	137.1%	200.0%	105.6%	－		
細節	2 読書の推進・環境を整備する						
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し	図書館利用者数（単年）					担当部課	
						教育委員会図書館	
指標の考え方	市民の読書活動を推進するため、図書館利用者を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和5年度 110,594人 令和5年度の実績を基準とし、月30人×12か月＝年間360人ずつ増加を目指す。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（人）	－	102,626	102,986	110,954	111,314		
実績（人）	102,266	108,967	110,594	114,998	－	R6達成度	a
達成率	－	106.1%	107.3%	103.6%	－		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	5 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち			
節	6 生涯にわたるスポーツ活動の推進			
数値目標（KGI）	スポーツに親しむ取組が推進されていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） スポーツ・レクリエーションなどが出来る機会の提供（①＋②） ①[満足・どちらかといえば満足] 42.0% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 22.5%			
設定値（％）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7（最終目標値）
	42.0	⇒	63.6	⇒ 64.5

■節の達成状況

主な担当課	市民生活部スポーツ振興課		
関係課			
令和6年度の主な取組や成果			
スポーツ活動の推進及び環境整備について、スポーツをしていない人でも楽しむことができ老若男女が参加できる、体力と運動能力向上を目的とした「いしのまき市民スポーツフェスタ」や体育館スポーツ教室などを実施したほか、小学校低学年を対象としたキッズバラエティスポーツ教室や保育園体育教室の実施によって、幼い頃からの運動習慣づくりをはじめ、協調性やコミュニケーション能力の向上にも寄与した。その結果、スポーツ教室参加者数は昨年度よりも実績人数を増やすことができ、安全にスポーツを実施できる環境を整えたことにより、体育施設利用者数も実績人数を大幅に増やすことができた。 スポーツ交流活動として、市内外から多くの方々に参加いただいた「ツール・ド・東北2024」及び「第8回いしのまき復興マラソン」を実施したほか、プロスポーツチーム（楽天イーグルス、ベガルタ仙台、マイナビ仙台レディース）との連携事業や市内小中学校でアスチアschool等も行い、市内外の方々との交流が促進されるとともに、市民にスポーツの楽しさや魅力を伝える機会を提供することができた。			
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性	
① イベントを実施するにあたり、参加者が集まらず開催を見送った事業や参加者の伸び悩みがあった。		各種事業について、ニーズを把握した上で内容の見直しを図り、SNS等を活用しながら、より多くの参加者が集まる事業を実施する。	
② いしのまき復興マラソンの実施方法及び参加者数について。		コースや実施種目等を見直した結果、前回大会より約1,400人の参加者が増加した。今後は、定員に達していない種目に対し、周知を徹底するとともに、参加いただけるような仕掛けを検討していく。	
内部評価	定性評価		定量評価【KPI】
A	○	◎	◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上
◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない			

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細 節		1 スポーツ活動を推進する						
重要業績評価指標（KPI）	スポーツ教室参加者数（単年）						担当部課	
							市民生活部スポーツ振興課	
指標の考え方		市民がスポーツを実施する機会を確保するため、各種スポーツ教室を実施し、参加者数を増やす。						
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 3,117人 実績に計上する事業を整理し、令和3年度の実績を基準に毎年度1%ずつ増加を目指す。 総合型地域スポーツクラブ普及促進事業、保育園体育教室、キッズバラエティ教室、卓球・バドミントン教室、出前講座、ティーボール教室の集計。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（人）		4,000	12,000	12,120	12,240	12,360		
実績（人）		3,117	9,845	11,503	11,912	－	R6達成度	b
達成率		77.9%	82.0%	94.9%	97.3%	－		
細 節		2 スポーツ環境を整備する						
重要業績評価指標（KPI）	体育施設利用者数（単年）						担当部課	
							市民生活部スポーツ振興課	
指標の考え方		老朽化した施設の改修や既存施設の開放により、市民が安全で快適にスポーツを実施できる環境を整え、体育施設の利用者数を増やす。						
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 446,027人 毎年度5%ずつ増加を目指す。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（人）		423,000	468,000	491,000	516,000	542,000		
実績（人）		446,027	442,136	503,756	674,617	－	R6達成度	a
達成率		105.4%	94.4%	102.5%	130.7%	－		
細 節		3 スポーツを通じた交流活動を推進する						
重要業績評価指標（KPI）	スポーツ交流イベント参加者数（単年）						担当部課	
							市民生活部スポーツ振興課	
指標の考え方		市民がスポーツの楽しさや魅力を身近に感じられるよう、市内外から多くの人を呼び込める様々なスポーツ交流イベントを開催し、参加者数を増やす。						
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 375人 実績に計上する事業を整理し、新たに事業を追加した。令和3年度の実績を基準に毎年度1%ずつ増加を目指す。 市主催スポーツ交流イベント、プロスポーツと連携したスポーツ交流事業、オリンピックデーラン、あすチャレ！school、ツール・ド・東北、復興マラソン、県駅伝競走大会の集計。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（人）		400	5,000	5,050	5,100	5,150		
実績（人）		375	5,038	4,801	6,668	－	R6達成度	a
達成率		93.7%	100.7%	95.0%	130.7%	－		

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	6 市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち			
節	1 市民に寄り添い信頼される行政運営の推進			
数値目標（KGI）	信頼される行政サービスが行われていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 市役所の窓口サービス（①＋②） ①[満足・どちらかといえば満足] 54.0% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 17.8%			
設定値（％）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7（最終目標値）
	54.0	⇒	52.8	⇒ 71.8

■節の達成状況

主な担当課		総務部秘書広報課			
関係課		総務部総務課、復興企画部DX推進課			
令和6年度の主な取組や成果					
多様な市民ニーズの把握（広聴事業）については、「動く市長室」を各総合支所、各支所及び離島において12回開催、「まちづくり懇談会」を3回開催、「市長室開放デー」を1回開催し、市民から意見・提案等をいただく機会として多様な市民ニーズを把握することができた。日中仕事の方も参加しやすいように夜間の開催等の工夫をした結果、参加人数が目標の280人を上回る372人となり、いただいた意見・提案等についても所管課にて検討を行い、区長会等を通じて市の考えを伝えることができた。 市民の関心を高める情報発信（広報事業）については、市報、ホームページ、SNS（LINE、フェイスブック、X等）、定例記者会見、記者クラブへの投げ込み等により適時適切な市政情報の発信を行った。市政に関心がある市民の割合は目標を下回ったものの、全体の3分の2を超えることができた。 情報開示請求については、目標よりも所要日数を短縮することができ、迅速な情報公開を行うことができた。 市民サービスの利便性の向上については、給付金支給申請など対象者が多い手続きを、石巻市LINE公式アカウントから申請できるようオンライン化を行ったほか、オンライン申請手続に関するお知らせを市報へ掲載したり窓口課等にポスターを掲示する等して市民へ周知した結果、友だち登録者数の増加へ繋がった。					
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性			
① 市民意識調査の「市政への関心」において、18歳から29歳までの年齢層では45.2%が「あまり関心がない」と回答していることが課題となっている。		幅広い年齢層に市政への関心を持っていただくため、SNSによる発信を充実するとともに、職員研修により情報が分かりやすい内容になるよう意識改革を進めた。広聴事業と広報事業の充実により、市民と市の相互理解を推進していきたい。			
② 行政手続のオンライン化を進めても、デジタル機器の操作が不慣れな方等には従来通り紙での手続きが必要となるため、業務担当課は二通りの受付処理が発生し、業務負担が増加することが課題となっている。		今後もオンライン申請ができない方への紙による手続きは必要であるが、従来の手続きにかかる事務処理の在り方を改善することで、業務負担を抑制できるよう業務担当課に働きかけている。			
内部評価		定性評価		定量評価【KPI】	
A		○		◎	
		◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない		◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上	

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細 節		1 多様な市民ニーズの把握に努める						
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し		市民等との懇談会の参加者数（単年）					担当部課	
							総務部秘書広報課	
指標の考え方		多様な市民ニーズを把握するため、「まちづくり懇談会」「動く市長室」「市長室開放デー」等、多種多様な市民との意見交換会の参加者数を増やす。						
目標値の考え方		○基準値：令和5年度 269人 「動く市長室」6総合支所4支所×25人＝250人 「市長室開放デー」及び「まちづくり懇談会」＝50人 開催方法の工夫により毎年度10人の参加者増を目指す。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（人）		－	150	150	280	300		
実績（人）		60	304	269	372	－	R6達成度	a
達成率		－	202.6%	179.3%	132.8%	－		
細 節		2 市民の関心を高める情報発信を推進する						
重要業績評価指標（KPI）		市政に関心がある市民の割合（単年）					担当部課	
							総務部秘書広報課	
指標の考え方		様々な媒体を活用して随時適切な情報を発信し、市政に対する市民の理解と関心を高める。						
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 70.4% 令和7年度には市民5人のうち4人は市政への関心を持つことを目標とし、毎年度2%ずつ上昇を目指す。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（%）		46.1	74.0	76.0	78.0	80.0		
実績（%）		70.4	71.2	66.7	69.3	－	R6達成度	b
達成率		152.7%	96.2%	87.7%	88.8%	－		
細 節		3 情報公開等による透明性の確保を推進する						
重要業績評価指標（KPI）		開示請求に係る平均所要日数（単年）					担当部課	
							総務部総務課	
指標の考え方		市政について市民の知る権利を保障し、開示請求時における迅速な情報公開により、透明性の高い市政運営を推進する。						
目標値の考え方		○基準値：令和元年度 10.6日 庁内において積極的に情報公開の推進が図られることを想定し、毎年度0.5日程度の所要日数の短縮を目指す。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（日）		9.6	9.1	8.6	8.1	7.6		
実績（日）		8.8	7.9	7.8	7.2	－	R6達成度	a
達成率 ※		109.0%	115.1%	110.2%	112.5%	－		

細節	4 市民サービスの利便性の向上を図る					
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し	LINE公式アカウントの友だち件数（単年）					担当部課
						復興企画部DX推進課
指標の考え方	LINE公式アカウントに登録している市民の利便性を向上させるため、提供サービスの充実を図り、さらなる友だち数の増加を目指す。					
目標値の考え方	○基準値：令和6年6月30日現在 16,927人⇒17,000人 ①R6.8以降、調整給付金のオンライン申請開始により急激な増加が見込まれる。（担当課見込：6,000人） ②転入時や母子手帳交付時、出生届提出時に友だち登録の二次元コードを配布していることにより日々微増しているが、調整給付金の6,000人増加以降（R7以降）は、これまで行政サービスを開始した際の友だち数増加の平均から1,000人程度の増加を目標とする。					
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲
目標（人）	－	－	13,000	24,000	25,000	
実績（人）	－	－	16,401	25,264	－	R6達成度
達成率	－	－	126.1%	105.2%	－	
						a

総合計画 評価シート 【総合計画基本計画】

章	6 市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち			
節	2 持続可能な行財政運営の推進			
数値目標（KGI）	効率的な行財政運営が行われていると感じる市民の割合			
目標値の考え方	○参考値：令和元年11月～12月（総合計画策定に係る市民意識調査） 行政運営や財政運営の効率化（①＋②） ①[満足・どちらかといえば満足] 37.8% ②[どちらかといえば不満・不満]×1/2 24.2%			
設定値（％）	R3（基準値）	⇒	R5（中間値）	⇒ R7（最終目標値）
	37.8	⇒	39.0	⇒ 62.0

■節の達成状況

主な担当課	総務部財政課		
関係課	総務部行政経営課、総務部管財課、復興企画部政策企画課、復興企画部DX推進課、復興企画部ふるさと納税推進課		
令和6年度の主な取組や成果			
市職員の作業時間効率化を図るため、アンケート集計等の業務を一元管理できる「LoGoフォーム」について職員研修会にて活用事例等を周知した結果、新規利用課が増加し作業時間を1,881時間削減することができた。 公有財産売払いについて、民間での利活用の促進及び遊休地の有効活用を図るため、売払い公募を実施し令和6年度中の実績は2件となった。 公共施設の電気利用料金について、令和6年度は新電力会社の応札もあったが、令和5年度に引き続き入札不調となるケースもあり、削減目標額は達成できなかった。 ふるさと納税について、寄附受付を行うポータルサイトの追加により18サイトでの受付を可能としたほか、首都圏へのチラシ配布、取扱返礼品数の拡充を実施した結果、目標額を約5億円上回る寄附額を集めることができた。 財政調整基金の取崩しについては、物価高騰や人件費の上昇の影響等により厳しい財政運営となったが、予算編成方針「健全で持続可能な財政基盤の確立」を踏まえた予算編成及び執行を行い、目標を達成することができた。 石巻圏域への移住定住を促す取組として、首都圏で開催された移住相談イベントへの出店や、移住体験プログラムや体験ツアーを実施し圏域の魅力を発信したが、少子高齢化などに起因する自然減が大きく、人口減少の抑制には至らなかった。			
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性	
①	マイナンバーカードを活用した本人確認機能による、LoGoフォームでのオンライン申請が未導入。	令和7年度から電子認証機能を追加し、マイナンバーカードにより本人確認ができるオンライン申請の入力フォームを作成できるよう対応した。	
②	電気料金入札実施率が100%とならなかった。	入札に代わる取組として、全低圧受電契約のうち半数の契約プラン見直しを行ったほか、高圧受電施設において、東北電力が実施する節電キャンペーンに申し込み、料金還元を受けた。	
③	急激な物価高騰や人件費上昇への対応として、持続可能な財政基盤確立が急務となっている。	物価高騰や人件費の上昇の影響等により、厳しい財政運営の中、寄付金額の伸びが好調であるふるさと納税も活用しながら、財政調整基金の取崩しを抑制し、財政運営を行った。	
内部評価		定性評価	定量評価【KPI】
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△ ◎：「aまたはb」のみでaが半数以上 ○：「aまたはb」のみでaが半数未満 △：「cまたはd」がありdが半数未満 ×：dが半数以上

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

細 節		1 限られた人材、財源等を最大限活用できる体制を構築する						
重要業績評価指標（KPI） ★R6.11 指標見直し		削減できた作業時間（単年）					担当部課	
							復興企画部DX推進課	
指標の考え方		限られた人材、財源等を最大限活用できる体制を構築するため、作業時間の削減につながるデジタルツールの活用を推進する。						
目標値の考え方		○基準値：令和5年度 デジタルツールの利用による作業時間削減 1,486時間 令和5年度から全庁的に導入し、削減効果が高いことが確認されたツールであるLoGoフォームについて未利用所属への利活用を図る。削減効果は利用所属へ実施したアンケート調査により把握する。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（時間）		-	-	-	1,700	1,900		
実績（時間）		-	-	1,486	1,881	-	R6達成度	a
達成率		-	-	-	110.6%	-		
細 節		2 未利用公有財産の有効な利活用を図る						
重要業績評価指標（KPI）		公有財産売払い件数（累積）					担当部課	
							総務部管財課	
指標の考え方		財源の確保を図るため、未利用の市有地などの公有財産を随時処分し、有効に利活用する。						
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 9件 一般競争入札にて、比較的需要の高いと考えられる未利用地を毎年度1件ずつ売払いを行う。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（件） 単年 累積		1 1	1 10	1 11	1 12	1 13		
実績（件） 単年 累積		9 9	1 10	0 10	2 12	- -	R6達成度	a
達成率		900.0%	100.0%	0.0%	200.0%	-		
細 節		3 公共施設の維持管理経費を節減する						
重要業績評価指標（KPI）		公共施設の入札導入による電気利用料金削減額（単年）					担当部課	
							総務部行政経営課	
指標の考え方		維持管理経費の節減を図るため、公共施設への電気料金入札制度導入により電気利用料金の削減を図る。						
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 98/143施設入札導入 入札後の高圧電気料金実績 507,087,910円 入札未実施の場合の見込額 677,562,680円 削減額 170,474,770円（削減率74.84%） 1施設あたり 1,739,538円×予定施設数（令和4年度125施設、R5年度以降143施設） ※予測不能な高圧平均単価、入札単価、燃料調整額等は考慮せず令和3年度実績で固定						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（千円）		-	217,442	248,753	248,753	248,753		
実績（千円）		170,475	153,153	120,028	111,330	-	R6達成度	d
達成率		-	70.4%	48.2%	44.7%	-		

細 節		4 自主財源の安定的確保を図る						
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し	ふるさと納税寄附金額（単年）						担当部課	
							復興企画部ふるさと納税推進課	
指標の考え方		自主財源の確保を図るため、ふるさと納税の寄附金額を増やす。						
目標値の考え方		○基準値：令和5年度 約13.5億円 令和5年度寄附実績において、当該年度の目標値（10億円）のみならず、令和6年度の目標値（12.5億円）を上回ったことから、計画を前倒しすることとし、令和7年度に目標値として掲げていた15億円を令和6年度の目標値とする上方修正を実施する。なお、それ以降は従前どおり毎年2.5億円ずつ増額させることを目指す。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標（億円）	-	7.00	10.00	15.00	17.50			
実績（億円）	5.32	7.99	13.50	20.10	-	R6達成度	a	
達成率	-	114.1%	135.0%	134.0%	-			
細 節		5 健全な財政運営を図る						
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し	財政調整基金取崩額（単年）						担当部課	
							総務部財政課	
指標の考え方		計画的な財政運営を図るため、財政調整基金（地方公共団体が財源に余裕のある年に積み立て、年度によって生じる財源の不均衡を調整する貯金）の取り崩し額を抑える。						
目標値の考え方		○基準値：令和元年度 45.8億円 令和5年12月公表の「石巻市の財政収支見通しと今後の対応」において、計画最終年度である令和7年度の財政調整基金取崩額を23.5億円としている。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標（億円）	55.1	29.2	22.4	34.3	23.5			
実績（億円）	32.0	26.0	20.0	28.8	-	R6達成度	a	
達成率 ※	172.1%	112.3%	112.0%	119.0%	-			
細 節		6 広域連携体制を強化する						
重要業績評価指標（KPI）	石巻圏域の人口増減率（対前年度比）（単年）						担当部課	
							復興企画部政策企画課	
指標の考え方		令和4年10月7日に石巻圏域定住自立圏共生ビジョンを策定したことから、定住自立圏構想を推進することにより、圏域における人口減少の抑止を目指す。						
目標値の考え方		○基準値：令和3年度末 -1.444% 平成30年度から令和3年度まで、本圏域において毎年度平均約1.26%ずつ人口が減少していることから、前年度末に対する人口増減率を-1%に留める。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標（%）	-	-1	-1	-1	-1			
実績（%）	-1.444	-1.410	-1.486	-1.586	-	R6達成度	c	
達成率 ※	-	70.9%	67.2%	63.0%	-			

総合計画 評価シート 【第2期復興・創生期間に係る対応方針】

章	1 第2期 復興・創生期間に係る対応方針						
対応方針	1 災害に強いまちづくりに向けて復興事業を確実に推進する						
数値目標（KGI）	復興事業の進捗率（累積）【終了】					復興企画部復興推進課	
指標の考え方	東日本大震災に係る復興事業について、一部完成に至っていない施設があることから、一日も早い事業の完結を目指す。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度末 86.1% 早期完成を目指す。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（％）	100	100	－	－	－		
実績（％）	96.1	100	－	－	－	R6達成度	
達成率	104.0%	100.0%	－	－	－		－

■対応方針の達成状況

主な担当課	復興企画部復興推進課		
令和4年度 完了			
	◎：課題を改善し効果を上げることができた	○：課題の改善に取り組んでいる	△：c
	○：課題の改善に取り組んでいる	△：c	×
	×	×	d

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

施策	1 復興事業を確実に推進する						
重要業績評価指標（KPI）	下水道復興事業進捗率（累積）					担当部課	
						建設部下水道建設課	
指標の考え方	地盤沈下等による排水不良や浸水区域となった地域の内水対策のため、ポンプ施設の早期完成を目指す。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年1月末 81.0% 早期完成を目指す。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7（最終）	再掲	
目標（％）	100	100	－	－	－		
実績（％）	92.9	100	－	－	－	R6達成度	
達成率	92.9%	100.0%	－	－	－		

総合計画 評価シート 【第2期復興・創生期間に係る対応方針】

章	1 第2期 復興・創生期間に係る対応方針						
対応方針	2 活力ある地域社会の形成に向けて被災者の心の復興を推進する						
数値目標（KGI）	「心の復興事業」参加者満足度（単年）					復興企画部復興推進課	
指標の考え方	被災者の心身のケア、生きがいつくりによる心の復興や、コミュニティ形成の促進等、継続した支援が必要であり、市民が自律的な生活を営めるような支援活動を実施する団体へ補助を行う「心の復興事業」へ参加した市民の満足度を上げる。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 100% 全参加者が満足できる事業内容を目指す。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（％）	100	100	100	100	100		
実績（％）	100	100	100	100	－	R6達成度	a
達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	－		

■対応方針の達成状況

主な担当課		復興企画部復興推進課			
関係課					
令和6年度の主な取組や成果					
心の復興事業において、コミュニティ形成の促進等、市民が自律的な生活を営めるような支援活動を実施する団体に補助を行っており、令和6年度は16団体が地域特性への対応や課題解決への取組を行った。 復興公営住宅に入居する方々を対象に、工作やレクリエーションなどを行うサロン活動を行うことで、住民同士のコミュニケーションを促進し、つながりが希薄である復興住宅のコミュニティ形成を築く機会を創り出したほか、復興公営住宅団地と近隣自治会住民を対象とした交流会や介護予防のワークショップなどを開催した。 新型コロナウイルス感染症の5類移行により活動が正常化するなか、参加者数は目標を少し下回ったが、参加者満足度は100%であった。地域ごとの課題に応じた各団体の取組や活動の結果、被災者の「孤立防止」や「心身の健康維持」、「コミュニティ形成」を図ることができた。					
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性			
①	令和7年度末で復興財源が終了することから、本事業の終了の告知と各団体の自走化に向けてサポートを行うこと。	令和8年度から各団体の自走化につなげるため、段階的な補助率の引き下げのため要綱を改正した。 令和7年度での本事業の終了について、支援活動を実施する団体に対し、丁寧な説明及び周知を行っていく。			
内部評価		定性評価		定量評価【KGI】	
A		○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	◎	◎：a ○：b △：c ×：d

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

施策	1 被災者の心の復興を推進する						
重要業績評価指標（KPI）	「心の復興事業」参加者数（単年）					担当部課	
						復興企画部復興推進課	
指標の考え方	同事業の参加者数を維持し、生きがいづくりやコミュニティ形成の促進等の支援活動により、被災者の心のケアを推進する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 9,775人 東日本大震災からの時間の経過や新型コロナウイルスの影響等のほか、地域での自立した活動に移行することが本事業の目的であることから、徐々に事業への参加者は減少するものと予想されるが、参加者を維持する。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7（最終）	再掲	
目標（人）	－	8,000	7,000	7,000	7,000		
実績（人）	9,775	7,491	9,638	6,263	－	R6達成度	b
達成率	－	93.6%	137.6%	89.4%	－		

総合計画 評価シート 【地方創生の取組】

章	1 人口戦略の推進						
対応方針	1 安定した雇用を創出し稼ぐまちをつくる						
数値目標（KGI）	新規雇用創出人数（福祉関係等の専門人材を含む）（単年）					復興企画部政策企画課	
指標の考え方	人材の確保・育成を推進し、安定した雇用を創出することで、地域経済の活性化を図る。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 77人 新規創業、水産業、農業の新規雇用創出数81人、医療介護職（奨学金返還支援事業・R4：41人、R5～R7:46人）、保育士の確保人数20人の合計。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	d
目標（人）	126	142	147	147	147		
実績（人）	96	116	87	55	－	R6達成度	
達成率	76.1%	81.6%	59.1%	37.4%	－		

実績値内訳（人）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	担当部課
新規創業者数	17	30	17	19	－	産業部産業推進課
新規水産業就業者数	13	12	12	12	－	産業部水産課
新規就農者数	4	7	7	3	－	産業部農林課
新規奨学金交付者数 （医療介護職）	36	39	36	21	－	保健福祉部保健福祉総務課
新規補助金交付者数 （保育士）	26	28	15	0	－	保健福祉部子ども保育課

■対応方針の達成状況

主な担当課	復興企画部政策企画課				
関係課	保健福祉部保健福祉総務課、産業部商工課、産業部水産課、産業部農林課				
評価理由					
事業者支援については、昨年度に引き続き事業者の高度化につながったとともに、担い手育成事業により水産業、農業どちらにおいても伴走型支援や個別相談等を通じて新たな就業者の確保に努め移住定住の促進につなげた。医療・福祉・介護の専門職の人材確保については、制度の見直しやオンライン申請の導入により利便性の向上を図ったが、確保数は減少傾向となっているため、今後も効果的な人材確保策を講じていく。					
内部評価	定性評価			定量評価【KGI】（括弧内はKGIが2つの場合）	
D	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	×	◎：a（どちらもa） ○：b（どちらも「aまたはb」） △：c（どちらかが「cまたはd」） ×：d（どちらもd）	

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

施策		1 地域産業の競争力を強化する							
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し		産業創造助成金交付による事業支援件数（単年）					担当部課		
							産業部商工課		
指標の考え方		地域間競争力を向上させるため、事業者の新たな事業展開を支援・促進し、新規販路開拓や新商品開発等の事業活動を目的とした助成金を交付する。							
目標値の考え方		○基準値：令和5年度 13件 R6目標値を令和5年度実績の13件とし、令和7年度からナノテラスを活用した研究開発が見込まれるためR7目標値を15件に設定した。							
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P34	
目標（件）		－	8	8	13	15			
実績（件）		7	5	13	13	－	R6達成度	a	
達成率		－	62.5%	162.5%	100.0%	－			
施策		2 専門人材を確保・育成する							
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し		新規水産業就業者数（単年）					担当部課		
							産業部水産課		
指標の考え方		水産業就業者の減少が続いているため、移住者や若者を積極的に受け入れ、サポート体制の充実等により新規水産業就業者を増やす。							
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 13人 令和3年度から令和5年度までの平均値が12人であるため、毎年度13人を目指す。							
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P38	
目標（人）		10	10	10	13	13			
実績（人）		13	12	12	12	－	R6達成度	b	
達成率		130.0%	120.0%	120.0%	92.3%	－			
施策		2 専門人材を確保・育成する							
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し		新規就農者数（単年）					担当部課		
							産業部農林課		
指標の考え方		農業従業者の高齢化や担い手不足が続いていることから、移住者や若者を積極的に受け入れ、サポート体制の充実等により新規就農者を増やす。							
目標値の考え方		○基準値：令和元年度～令和5年度までの新規就農者数の平均値 5人 近年の実績から毎年度5人程度の確保を目指す。							
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P43	
目標（人）		2	2	2	5	5			
実績（人）		4	7	7	3	－	R6達成度	c	
達成率		200.0%	350.0%	350.0%	60.0%	－			

施策	3 働きやすい魅力的な環境を整備する						
重要業績評価指標（KPI）	奨学金返還支援事業助成人数（単年）					担当部課	
						保健福祉部保健福祉総務課	
指標の考え方	市内に居住し、市内の事業所に勤務する医療、福祉、介護等の専門職の方に対し、奨学金返還金を助成することにより、医療、福祉、介護人材を確保する。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 36人 これまでの実績に加え、年々申請者が増加傾向にあることから、新規申請者の増加を見込んだ目標値とした。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P30
目標（人）	－	41	46	46	46		
実績（人）	36	39	36	21	－	R6達成度	d
達成率	－	95.1%	78.2%	45.6%	－		

総合計画 評価シート 【地方創生の取組】

章	1 人口戦略の推進						
対応方針	2 絆を大切にし人が集まるまちをつくる						
数値目標（KGI）	社会移動増減数（単年）					復興企画部政策企画課	
指標の考え方	若者の地元定着や移住施策を推進し、減少幅を少なくすることで人口減少を抑制する。						
目標値の考え方	○基準値：令和元年 -712人 人口ビジョンで示している推計値を活用し、転出超過数が年々減少するよう傾斜をかけて算出。令和元年より397人の転出超過を抑制することを目標とすることから、転入者が増え（転出者が減り）令和7年は315人の転出超過となる。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（人）	-380	-350	-330	-317	-315		
実績（人）	-784	-440	-556	-682	-	R6達成度	d
達成率 ※	48.4%	79.5%	59.3%	46.4%	-		
数値目標（KGI）	地元就職割合（単年）					産業部商工課	
指標の考え方	学生の地元就職割合を向上させることで人口減少を抑制する。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年4月末 51.5% 施策により基準値よりも増加するよう努める。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（%）	55.0	55.0	55.0	55.0	55.0		
実績（%）	54.2	54.5	45.7	49.7	-	R6達成度	b
達成率	98.5%	99.0%	83.0%	90.3%	-		

■対応方針の達成状況

主な担当課	復興企画部政策企画課		
関係課	危機管理部震災伝承課、復興企画部SDGs移住定住推進課、復興企画部ふるさと納税推進課、産業部産業推進課、産業部商工課、教育委員会生涯学習課		
評価理由			
お試し移住体験により48組91人の受け入れや、首都圏での移住相談イベントへの出展など、積極的に本市の魅力を発信し、移住人口の増加を図ったほか、「定住促進住宅取得等補助制度」を子育て世帯に焦点を当てた内容にし、新たな「奨学金支援制度」の創設等により、若者の定住を促進した。 また、地元就職割合を向上させるため、高校2・3年生を対象とした合同企業説明会、桜坂高校の就職希望の3年生を対象とした企業見学ツアー等を引き続き開催した。			
内部評価	定性評価		定量評価【KGI】（括弧内はKGIが2つの場合）
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△ ◎：a（どちらもa） ○：b（どちらも「aまたはb」） △：c（どちらかが「cまたはd」） ×：d（どちらもd）

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

施策	1 地方移住・移転の推進を図る							
重要業績評価指標（KPI）	移住対策事業を活用した本市への移住人数（単年）					担当部課		
						復興企画部SDGs移住定住推進課		
重要業績評価指標（KPI）	移住対策事業（移住相談、空き家バンク、石巻市定住促進住宅取得等補助金、お試し移住体験）を推進することで、移住人口の増加を図る。							
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 76人 令和3年度から移住希望者に対する住宅取得等の補助金を創設したことから、補助金を活用した移住者130人、相談窓口を利用した移住者20人を目指す。							
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P4	
目標（人）	－	150	150	150	150			
実績（人）	76	152	165	143	－	R6達成度	b	
達成率	－	101.3%	110.0%	95.3%	－			

施策	1 地方移住・移転の推進を図る							
重要業績評価指標（KPI）	立地企業件数（単年）					担当部課		
						産業部産業推進課		
指標の考え方	企業誘致は新たな雇用創出や定住人口の増加につながるほか、市税収入等の増加にも効果があることから、企業立地意向調査や企業訪問等に取り組み、市内に新たに立地する企業数を増やす。							
目標値の考え方	○基準値：令和元年度 5件 過去5年間の企業立地実績をベースに、今後の用地分譲件数を考慮して設定した。 ※過去5年の平均立地件数/年＋今後平均分譲数/年×(100－指定企業者率34%)							
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P48	
目標（件）	10	10	10	10	10			
実績（件）	10	9	8	6	－	R6達成度	c	
達成率	100.0%	90.0%	80.0%	60.0%	－			

施策	2 若者の地元定着の推進を図る							
重要業績評価指標（KPI）	合同企業説明会への求職者の参加人数（単年）					担当部課		
						産業部商工課		
指標の考え方	産業人材を確保及び育成するため、関係機関との連携により合同企業説明会の参加人数を増やす。							
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 一般向け 16人、高校生向け 413人（2回） 令和4年度からは高校生の合同企業説明会参加者を含めて設定した。 一般求職者向け 100人（年2回×1回あたり50人） 高校生向け 250人（年1回）							
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P50	
目標（人）	200	350	350	350	350			
実績（人）	429	77	526	390	－	R6達成度	a	
達成率	214.5%	22.0%	150.2%	111.4%	－			

施策		2 若者の地元定着の推進を図る						
重要業績評価指標（KPI）	ふるさと子どもカレッジ参加者満足度（単年）						担当部課	
							教育委員会生涯学習課	
指標の考え方		子どもたちが郷土の自然や文化を体験するため、地域や企業の協力のもと、年間7回を通して各地区の特色を生かした講座を開催し、参加者の満足度が高い内容を実施することで参加者数を増やす。						
目標値の考え方		○基準値：令和元年度 83% 全参加者が満足できる事業内容を目指す。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P60
目標（%）		100	100	100	100	100		
実績（%）		100	100	100	100	－	R6達成度	a
達成率		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	－		
施策		3 関係人口の創出・拡大、つながりの継続を図る						
重要業績評価指標（KPI）	震災遺構来訪者数（単年）						担当部課	
							危機管理部震災伝承課	
指標の考え方		震災遺構来訪者数を増やし、東日本大震災の経験や教訓を多くの人々に伝え続ける。						
目標値の考え方		○大川小：令和3年7月開場 令和3年度 49,245人 門脇小：令和4年4月開場 年間の来訪者を門脇小58,000人（月4,800人）、大川小80,000人（月6,600人）を目標とし、企画展の開催や常設展示の更新等により維持を目指す。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P12
目標（人）		45,000	138,000	138,000	138,000	138,000		
実績（人）		49,245	116,520	129,744	113,312	－	R6達成度	b
達成率		109.4%	84.4%	94.0%	82.1%	－		
施策		4 地方への資金の流れの創出・拡大を図る						
重要業績評価指標（KPI）	ふるさと納税寄附件数（単年） ☆R6.11 目標値見直し						担当部課	
							復興企画部ふるさと納税推進課	
指標の考え方		ふるさと納税を通じて得た個人と本市とのつながりを活かし、各種情報発信などを通じてつながりを構築する。						
目標値の考え方		○基準値：令和5年度 約105,000件 約13.5億円 1件当たり約12,900円 寄附額を R6:15億円、R7:17.5億円に設定し、令和5年度の寄附単価を基に算出した。						
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（件）		30,000	65,000	81,000	117,000	136,000		
実績（件）		42,978	69,930	104,891	129,219	－	R6達成度	a
達成率		143.2%	107.5%	129.4%	110.4%	－		

総合計画 評価シート 【地方創生の取組】

章	1 人口戦略の推進							
対応方針	3 結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなうまちをつくる							
数値目標（KGI）	合計特殊出生率（単年）					復興企画部政策企画課		
指標の考え方	出生数の減少が続く中、合計特殊出生率を確認することで、自分が暮らすまちで安心して子どもを産み育てる環境づくりができているかを測る。							
目標値の考え方	○基準値：令和元年 1.25 総合計画と一体的に策定した人口ビジョンで示している推計値を目標値とする。 ※令和5年実績値：令和4年合計特殊出生率							
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	C	
目標（-）	1.52	1.52	1.52	1.52	1.52			
実績（-）	1.23	1.20	1.15	1.09	-	R6達成度		
達成率	80.9%	78.9%	75.6%	71.7%	-			
数値目標（KGI）	女性人口（15～49歳）（単年）					復興企画部政策企画課		
指標の考え方	結婚・妊娠・出産・子育ての希望がかなう環境を整備することで、女性の流出を抑え、女性人口を維持する。							
目標値の考え方	○基準値：令和2年3月 25,033人 人口ビジョンで示している推計値を活用。							
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	b	
目標（人）	21,696	21,696	21,696	21,696	21,696			
実績（人）	23,542	22,970	22,379	21,678	-	R6達成度		
達成率	108.5%	105.8%	103.1%	99.9%	-			

■対応方針の達成状況

主な担当課	復興企画部政策企画課		
関係課	復興企画部地域振興課、保健福祉部健康推進課、保健福祉部子育て支援課、保健福祉部子ども保育課、教育委員会学校教育課		
評価理由			
待機児童数の発生を防ぎ、子どもが安心して過ごせる環境を整備するため、令和6年度に全地区にあたる28地区児童クラブの民間委託が完了し、支援員等の人材確保が図られた。また、多様化する保育ニーズに応えるため、再編計画に基づく保育所整備を推進している。 また、子育て世代包括支援センターにおいて、来所する妊産婦とともに、出産前後の行動計画や利用できるサービスをまとめた産前産後プランを作成するなど、妊娠、出産から子育てまでの切れ目のない支援を行った。			
内部評価	定性評価		定量評価【KGI】（括弧内はKGIが2つの場合）
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△ ◎：a（どちらもa） ○：b（どちらも「aまたはb」） △：c（どちらかが「cまたはd」） ×：d（どちらもd）

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

施策		1 結婚・妊娠・出産への切れ目のない支援を推進する							
重要業績評価指標（KPI）	新生児訪問事業（乳児全戸訪問事業）実施率（単年）	担当部課							
		保健福祉部健康推進課							
指標の考え方		出産から子育て期の継続的な支援を行うため、新生児の訪問事業（保健師による生後4ヶ月未満の赤ちゃんがいる世帯への訪問事業）の実施率を上げる。							
目標値の考え方		○基準値：令和元年度 98.3% 対象期間中に里帰り出産等で訪問できない世帯があるが、それ以外の世帯へ訪問を実施する。							
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P22	
目標（％）		98.5	98.5	98.5	98.5	98.5			
実績（％）		94.4	98.8	97.0	98.5	－	R6達成度	a	
達成率		95.8%	100.3%	98.4%	100.0%	－			
施策		2 子育て支援の充実を図る							
重要業績評価指標（KPI）	保育施設及び放課後児童クラブ待機児童数（単年）	担当部課							
		保健福祉部子ども保育課 保健福祉部子育て支援課							
指標の考え方		保育施設等の待機児童数を減少させ、子育て環境を充実させる。							
目標値の考え方		○基準値：令和2年度（4月時点） 保育施設12人、児童クラブ170人 保育施設や放課後児童クラブへ申請したものの、定員超過等のため入所・入級できない児童が発生しないよう毎年度0人を目指す。							
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P22	
目標（人） 保育施設 児童クラブ		0 0	0 0	0 0	0 0	0 0			
実績（人） 保育施設 児童クラブ		8 5	3 0	3 9	2 2	－	R6達成度	b	
達成率		－	－	－	－	－			
施策		3 学校教育の充実を図る							
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し	学校が楽しいと感じている児童生徒の割合（単年）	担当部課							
		教育委員会学校教育課							
指標の考え方		児童生徒の主体的に生きる力を育成するため、児童生徒の意欲を高めることが重要であることから、学校が楽しいと感じている児童生徒の割合を高める。							
目標値の考え方		○基準値：令和5年度 92.2% 高い数値で推移しているが、引き続き高水準を維持する。							
設定値（単位）		R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P54	
目標（％）		80.0	82.0	84.0	93.0	94.0			
実績（％）		91.7	91.0	92.2	92.4	－	R6達成度	b	
達成率		114.6%	110.9%	109.7%	99.3%	－			

施策		3 学校教育の充実を図る						
重要業績評価指標（KPI） ★R6.11 指標見直し	支援対象児童生徒の解決・好転件数の割合（単年）						担当部課	
							教育委員会学校教育課	
指標の考え方		スクールソーシャルワーカー（教育機関において社会福祉に関する専門的な知識や技術を有する者）が関わり、支援対象の児童生徒の抱える問題の解決・好転を目指す。						
目標値の考え方		○基準値：令和2年度 解決・好転件数の割合 45.3% スクールソーシャルワーカーが児童生徒の環境や支援のためのネットワーク構築を推進し、問題の解決・好転を図る。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P58	
目標（%）	－	－	－	70.0	70.0			
実績（%）	－	－	52.5	60.5	－	R6達成度	b	
達成率	－	－	－	86.4%	－			
施策		4 仕事と子育ての両立を図る						
重要業績評価指標（KPI）	「育児や家事の役割」について「夫婦同様」との回答割合（単年）						担当部課	
							復興企画部地域振興課	
指標の考え方		セミナーや研修等を開催し、男女共同参画への理解を深めることで、社会のあらゆる分野における意識啓発を図る。						
目標値の考え方		○基準値：令和2年度 60.1% 男女共同参画基本計画において、計画最終年度となる令和7年度目標値を70%としている。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P8	
目標（%）	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0			
実績（%）	49.9	66.1	72.4	75.7	－	R6達成度	a	
達成率	71.2%	94.4%	103.4%	108.1%	－			

総合計画 評価シート 【地方創生の取組】

章	1 人口戦略の推進							
対応方針	4 災害に強く安全安心に暮らせる魅力的なまちをつくる							
数値目標（KGI）	住み続けたいと思う市民の割合（単年）					復興企画部政策企画課		
指標の考え方	市民が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、まちの機能の充実や地域資源の活用による、安心で魅力的なまちづくりが行われているかを測る。							
目標値の考え方	○基準値：令和元年11～12月 81%（総合計画策定に係るアンケート調査） 令和元年度から令和3年度は1%ずつ、令和3年度から令和7年度にかけては毎年度0.5%ずつ上昇を目指す。							
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	b	
目標（%）	83.0	83.5	84.0	84.5	85.0			
実績（%）	81.3	83.5	79.6	81.0	－	R6達成度		
達成率	97.9%	100.0%	94.7%	95.8%	－			
数値目標（KGI）	防災訓練参加率（単年）					危機管理部危機対策課		
指標の考え方	災害時に迅速に対応するためには、市民一人ひとりの防災意識や災害への備えが重要であることから、防災訓練の参加率を上げることで、地域防災力の向上を図る。							
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 17.75% 直近の一番高い参加率が平成30年度の20%であることから、令和7年度には人口の20%（令和7年人口推計値からの算出で25,900人）の参加率を目標値とし、令和4年度から毎年度0.56%（令和4年9月末時点人口算出で767人）の増加を目指す。							
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P6	
目標（%）	15.50	18.31	18.87	19.43	20.00			
実績（%）	17.75	15.45	18.14	12.98	－	R6達成度	c	
達成率	114.5%	84.3%	96.1%	66.8%	－			

■対応方針の達成状況

主な担当課	復興企画部政策企画課		
関係課	危機管理部危機対策課、危機管理部震災伝承課、復興企画部地域振興課、市民生活部地域協働課、保健福祉部保健福祉総務課、保健福祉部介護福祉課、産業部観光政策課、教育委員会生涯学習課		
評価理由			
公共交通利用促進のため、市内の路線バスに関する情報が、様々な経路検索コンテンツで常に新しい情報が検索可能となったことにより利用者の利便性向上が図られたほか、各地区の住民バス等について、住民意見を踏まえた運航方法に変更するなど、持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けた取り組みを行った。 また、安全安心に暮らせるまちづくりに向け、総合防災訓練においてペット避難訓練や避難所開設訓練等、住民参加型の避難訓練を行った。住民協議会の増加に伴い、「地区交流イベント」などの活動実績も大きく増加したことから、住民主体の地域づくりが推進され、地域の活性化が図られた。			
内部評価	定性評価		定量評価【KGI】（括弧内はKGIが2つの場合）
C	○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	△ ◎：a（どちらもa） ○：b（どちらも「aまたはb」） △：c（どちらかが「cまたはd」） ×：d（どちらもd）

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

施策		1 質の高い暮らしのためのまちの機能の充実を図る						
重要業績評価指標（KPI）	公共交通利用者数（単年）						担当部課	
							復興企画部地域振興課	
指標の考え方		公共交通利用者は減少傾向にあることから、利用者数を測ることにより、市民にとって利用しやすい交通体系が構築されているか確認するほか、利用者の増加により持続可能な公共交通ネットワークを構築する。						
目標値の考え方		○基準値：令和元年度 361,398人 令和元年度の実績を基準とし、毎年度1%ずつ増加を目指す。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標（人）	368,662	372,349	376,072	379,833	383,631			
実績（人）	297,157	314,862	321,528	339,920	－	R6達成度	b	
達成率	80.6%	84.5%	85.4%	89.4%	－			

施策		1 質の高い暮らしのためのまちの機能の充実を図る						
重要業績評価指標（KPI） ★R6.11 指標見直し	住民協議会による交流事業数（単年）						担当部課	
							市民生活部地域協働課	
指標の考え方		住民協議会の交流事業により地域住民間の交流を促進し、地域コミュニティの活性化を推進する。						
目標値の考え方		○基準値：1地区あたり3件の交流事業を実施する。 令和6年度 3件×11地区＝33件 令和7年度 3件×16地区＝48件						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P2	
目標（事業）	－	－	－	33	48			
実績（事業）	－	－	17	36	－	R6達成度	a	
達成率	－	－	－	109.0%	－			

施策		4 災害に強く安全安心に暮らせる魅力的なまちをつくる						
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し	観光客入込数（単年）						担当部課	
							産業部観光政策課	
指標の考え方		観光業は即効性が高く、地域産業と関連して経済的効果が大きいことから、各種取組を推進し、観光地点及び行催事・イベント等に訪れた人数を増やし、地域経済の活性化を図る。						
目標値の考え方		○基準値：令和元年実績値 4,047,035人 令和5年度実績値4,931,248人 令和元年度と令和5年度における実績値の年平均成長率（幾何平均）である5.06%を令和元年度を基準として前年度の目標値に乗じた値。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標（人）	3,600,000	3,600,000	3,600,000	5,100,000	5,400,000			
実績（人）	2,773,778	4,248,570	4,931,248	4,702,395	－	R6達成度	b	
達成率	77.0%	118.0%	136.9%	92.2%	－			

施策	2 資源を活かした地域の魅力づくりを推進する						
重要業績評価指標（KPI） ☆R6.11 目標値見直し	複合文化施設利用者数（単年）					担当部課	
						教育委員会生涯学習課	
指標の考え方	企画展・特別展を開催し、市民に文化・芸術に触れる場を提供することで、石巻市の歴史・文化に対する理解を深めるとともに、心の豊かさの醸成を図る。						
目標値の考え方	○基準値：令和5年度 152,474人 令和5年度の実績を基準とし、毎年度5,000人の増加を目指す。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（人）	100,000	110,000	120,000	157,474	162,474		
実績（人）	104,478	133,348	152,474	142,775	－	R6達成度	b
達成率	104.4%	121.2%	127.0%	90.6%	－		
施策	3 安心して暮らせる医療・福祉環境の充実を図る						
重要業績評価指標（KPI）	地域互助活動実施団体件数（単年）					担当部課	
						保健福祉部保健福祉総務課	
指標の考え方	高齢者・障害者・子ども・生活困窮者を対象とした日常生活上の助け合い活動（送迎支援、買物支援、見守り・声がけ支援等）を行う団体数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 11件 令和5年度以降は同様の事業を整理統合し、申請実績のない自治会等に対して「互助」の意識醸成を図ることを目的として事業の見直しをすることから、これまでの実績に加え、新型コロナウイルス感染症の影響下においても地域活動に取り組んでいる団体の実績を勘案し目標値とした。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P30
目標（件）	11	15	55	58	61		
実績（件）	13	14	41	56	－	R6達成度	b
達成率	118.1%	93.3%	74.5%	96.5%	－		
施策	3 安心して暮らせる医療・福祉環境の充実を図る						
重要業績評価指標（KPI）	「生きがい」を持ちながら暮らしている高齢者の割合（単年）					担当部課	
						保健福祉部介護福祉課	
指標の考え方	高齢者の心身の健康維持や向上を図るためには、日々の生活の中で「生きがい」を持つことが重要であることから、「生きがい」を持つ高齢者の割合を高める。						
目標値の考え方	○基準値：令和2年度 67.7% 策定時において、第3期石巻市地域福祉計画（平成29年度～令和3年度）の目標値を達成していなかったため、同目標値とした。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	基本計画 P24
目標（%）	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0		
実績（%）	70.8	70.1	72.6	73.8	－	R6達成度	b
達成率	88.5%	87.6%	90.7%	92.2%	－		

施策	4 災害に強いまちづくりを推進する						
重要業績評価指標（KPI）	防災指導員数（累積）					担当部課	
						危機管理部震災伝承課	
指標の考え方	地域で中心的な役割を担い、防災活動支援や防災意識向上の啓発活動などを行う防災指導員数を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 247人 市内の自主防災組織数が227組織あることから、1組織2名の配置を目指し育成し、454名の目標とするが、資格取得後における自然減、社会減を10％と見込み、年40名の増加を目指す、令和7年度には407名の防災指導員を確保する。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	
目標（人）	297	287	327	367	407		
実績（人）	247	314	327	392	－	R6達成度	a
達成率	83.1%	109.4%	100.0%	106.8%	－		

総合計画 評価シート 【地方創生の取組】

章	2 未来都市の実現						
対応方針	1 コミュニティを核とした持続可能な地域社会をつくる						
数値目標（KGI）	市民のSDGs認知度（単年）					復興企画部SDGs移住定住推進課	
指標の考え方	SDGsの認知度を高めることで、持続可能な地域づくりに取り組む市民を増やす。						
目標値の考え方	○基準値：令和3年度 59.4% 令和3年度は主婦層の認知度が低かったため、令和4年度はこれまでの取組の他にスーパーへのPOPの掲示や市報での身近なSDGsの取組紹介等、主婦層をターゲットとした取組を行ってきたことから、令和4年度の認知度は70%を見込み、令和5年度以降は5%ずつの増加を目指す。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲	a
目標（％）	40.0	50.0	75.0	80.0	85.0		
実績（％）	59.4	72.4	81.7	81.7	－	R6達成度	
達成率	148.5%	144.8%	108.9%	102.1%	－		

■対応方針の達成状況

主な担当課		復興企画部SDGs移住定住推進課			
関係課					
令和6年度の主な取組や成果					
SDGsの認知度向上に向けた取組として、企業が行っているSDGsの取組を毎月市報に掲載したほか、学校や団体からの要請に基づき、出前講座を6回実施した。また、市内の大型商業施設と連携して、SDGsフェスを開催し、SDGsに積極的に取り組んでいる小学校の活動紹介やワークショップなどを実施した。さらには、圏域2市1町と連携して、海岸清掃を各市町でそれぞれ実施したほか、女川町を会場にSDGsに関するプロモーションを実施し、人が集まりやすい機会にあわせて効果的にSDGsの普及啓発を行った。 グリーンスローモビリティ（電動カート）事業については、劣化していたバッテリーを交換したほか防風カバーを設置し、冬季や天候が悪い時でも利用しやすい環境を整備したとともに、体験試乗会や夏祭りなど地域で開催されるイベントで利用促進を図ったことにより、前年度と比較して延べ239名増の322名が利用され、地域コミュニティの活性化に寄与することができた。					
令和6年度における主な課題		改善した点・方向性			
①	電動カートのボランティアドライバーが不足している。	利用促進を呼びかけるチラシにボランティアドライバー募集の記事を記載するとともに、各地区で開催される定例会に出席し、ボランティアドライバーの確保について引き続き協議する。			
内部評価		定性評価		定量評価【KGI】	
A		○	◎：課題を改善し効果を上げることができた ○：課題の改善に取り組んでいる ×：課題が改善されず効果が上がっていない	◎	◎：a ○：b △：c ×：d

■委員使用欄

外部評価	評価理由・意見及び指摘事項

施策		1 地域に雇用を生み稼ぐ仕組みを構築する						
重要業績評価指標（KPI）	ハイブリッドリユース事業によって生産されたグリーンスローモビリティの延べ利用者数（単年）					担当部課		
						復興企画部SDGs移住定住推進課		
指標の考え方		ハイブリッドリユースにより生産されたグリーンスローモビリティを活用することで、地域経済の活性化を図る。						
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 152人（A地区のみ） ・配置するカートは2台。（A地区1台、B地区1台（R5～配置）） ・運行回数は週2回、年間（52週）100回と想定 【A地区】R4～R7の目標値について、R3実績からの平均乗車人数3人×運行回数100回＝300人 【B地区】R5目標値について、平均乗車人数4人×運行回数80回（運用初年度のため）＝320人、R6～R7の目標値については、平均乗車人数4人×運行回数100回＝400人 ※参考：カーシェア会員数 A地区 47名 B地区73名						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標（人）	－	300	620	700	700			
実績（人）	152	277	83	322	－	R6達成度	d	
達成率	－	92.3%	13.3%	46.0%	－			
施策		2 地域コミュニティによる支え合いを推進する						
重要業績評価指標（KPI）	カーシェアリングの買い物等延べ利用者数（単年）					担当部課		
						復興企画部SDGs移住定住推進課		
指標の考え方		カーシェアリングの利用者を向上させ、地域コミュニティの活性化を図り、地域に暮らす人が支え合いながら生活することのできる地域社会をめざす。						
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 11,160人 カーシェアリング協会において実績にあわせて設定した。						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標（人）	2,200	2,400	11,500	11,750	12,000			
実績（人）	11,160	12,756	12,814	13,028	－	R6達成度	a	
達成率	507.2%	531.5%	111.4%	110.8%	－			
施策		3 低炭素社会を実現する						
重要業績評価指標（KPI）	グリーンスローモビリティの走行距離（単年）					担当部課		
						復興企画部SDGs移住定住推進課		
指標の考え方		環境への負荷が少ないグリーンスローモビリティを活用することで低炭素社会の実現を目指す。						
目標値の考え方		○基準値：令和3年度 98km（A地区のみ） ・配置するカートは2台。（A地区1台、B地区1台（R5～配置）） ・運行回数は週2回、年間（52週）100回と想定 【A地区】R4～R7の目標値について、R3実績からの平均走行距離3km/回×運行回数100回＝300km 【B地区】R5目標値について、平均走行距離5km×運行回数80回（運用初年度のため）＝400km、R6～R7の目標値については、平均走行距離5km×運行回数100回＝500km ※参考：給電ステーションからイオンモール石巻までの距離 A地区 1km B地区 1.7km						
設定値（単位）	R3	R4	R5	R6	R7(最終)	再掲		
目標（km）	－	300	700	800	800			
実績（km）	98	279	244	510	－	R6達成度	c	
達成率	－	93.0%	34.8%	63.7%	－			